

別冊 1

令和2年度使用

小学校用教科用図書の 選定に必要な資料

島根県教育委員会

各発行者記号は以下のとおりである。

記号	発行者名	記号	発行者名
A	東京書籍	I	光村図書出版
B	大日本図書	J	帝国書院
C	開隆堂出版	K	新興出版社啓林館
D	学校図書	L	日本文教出版
E	三省堂	M	文教社
F	教育出版	N	光文書院
G	教育芸術社	O	学研教育みらい
H	信州教育出版社	P	廣済堂あかつき

「選定に必要な資料」の観点は以下のとおりである。

1	内容、程度、分量等	記述された内容、程度が、児童の発達の段階に適合しているか。また、分量が適切であるか。 【各科目・特別の教科道徳 共通】
2	教材の選択や構成等	取り上げられた教材の選択や構成は、学習を効果的に進めるために適切なものになっているか。 【各科目・特別の教科道徳 共通】
3	興味・関心への配慮等	児童が興味・関心をもって学習できるように工夫されているか。 【各科目・特別の教科道徳 共通】
4	教科の特性、県の実態や課題への適合等	各教科の特性が生かされ、島根県の実態や課題に適合しているか。【各科目】 道徳科の特性が生かされ、島根県の実態や課題に適合しているか。【特別の教科道徳】
5	各教科等及び実生活との関連についての工夫	各教科等における資質・能力との関連や、実生活へ生かせる工夫が盛り込まれているか。【各科目】 各教科等における道徳教育との関連や実生活へ生かせる工夫が盛り込まれているか。 【特別の教科道徳】
6	その他	観点1～5にあてはまらない内容やその他特筆すべき事項 【各科目・特別の教科道徳 共通】
	総括	観点1～5及びその他についての記述や感性を育む要素などを総合したその教科用図書の全体的な特徴等 【各科目・特別の教科道徳 共通】

選 定 に 必 要 な 資 料

記号	選 定 に 必 要 な 資 料 の 観 点						総 括
	1 内容、程度、分量等	2 教材の選択や構成等	3 興味・関心への配慮等	4 教科の特性、県の実態や課題への適合等	5 各教科等及び実生活との関連についての工夫	6 その他	
A	<p>○「はをつかおう」「をへをつかおう」では、助詞を入れる過程をスモールステップで示し、更に視覚的に表現することで、捉えやすくなるよう工夫されている。(1年上p. 48)</p> <p>○5、6年においては、中学校への移行を考慮して、また、自主的・主体的に既習事項を確認しやすくするため、分冊ではなく1冊の教科書で対応している。</p>	<p>○「ゆうすげ村の小さな旅館ーウサギのダイコン」と「世界一美しいぼくの村」では、付録の教材を用いることで、比べ読みやテーマ読書につながる構成になっている。(3年下p. 111, 4年下p. 111)</p> <p>○4月を学習の基盤作りの期間として重視し、学習の基礎となる「対話」「情報の扱い方」「音読」「ノート作り」「図書館利用」についての単元が位置付けられている。(3年上p. 10, 12, 28, 30)</p>	<p>○「本は友達」では、著名人による読書体験文、多様な図書を紹介する「〇年生の本だな」「読書記録」で構成され、読書への関心を高め、読書習慣を養うことができるよう工夫されている。(4年上p. 100)</p> <p>○1年上では、スタートカリキュラム対応期の教材として、カラフルな紙面で構成されている。また、ページの数字も大きく表記されている。(1年上p. 1-25)</p>	<p>○「インターネットの投稿を読み比べよう」では、多角的に読み取る力を育てるため、多様な投稿を読み比べることができる構成になっている。(6年p. 75)</p> <p>○3、4年で繰り返しローマ字の学習が配置されている。(3年上p. 85, 3年下p. 25, 4年上p. 99, 4年下p. 127)また、3年生以上の各巻末に、ローマ字表を掲載し、ローマ字が確実に習得できるよう配慮されている。(3-6年巻末)</p>	<p>○情報活用の単元「町の未来をえがこう」では、教科等横断的な指導を図ることによって総合力を発揮し、より効果的に課題を解決することができるよう単元構成が工夫されている。(6年p. 138)</p> <p>○2年以上に「国語のノートの作り方」を配置し、学習の見通しや振り返りなど、学習の構えを作る上で参考となる項目が設定されている。(2年上p. 26)</p>	<p>○「町の幸福論ーコミュニティデザインを考える」では、隠岐郡海士町の取組が紹介されており、ふるさと教育の視点や郷土への親しみ、誇りにつながる内容となっている。(6年p. 145)</p>	<p>○国語科で育む資質・能力を「言葉の力」として単元冒頭と単元末に示し、どんな力を身に付けるのか、児童も教師もはっきりと意識できるように工夫されている。(4年下p. 30, 52)</p> <p>○単元冒頭には、主体的な学びにつなげるために「つかむ」「覚えているかな」が、単元末には、学び続ける意欲や態度を育てるために「ふり返る」「生かそう」が構成として位置付けられている。(5年p. 78, 88)</p>
D	<p>○5、6年でも上下2分冊にすることにより、文章量が増え、内容が複雑・高度になる高学年において、ゆとりをもったページ構成を実現している。</p> <p>○6年の上下巻の資料編では、読み物資料が3つ掲載されており、児童の興味や実態に合わせて学習できるように工夫されている。(6年上p. 136, 6年下p. 126, p. 140)</p>	<p>○4年以上の「対話して読む」読み物教材では、「つぶやき」の例が欄外に示されており、児童が文章と対話しながら読むための手掛かりとなるよう工夫されている。(4年下p. 24)</p> <p>○「A Iで言葉と向き合う」では、同じテーマで書かれた2つの文章を比べて読む活動が示されており、物事を多面的に見たり考えたりできるように工夫されている。(6年上p. 52)</p>	<p>○年度当初の小単元にある「言葉でつながる」は、ゲーム的な要素を取り入れながら楽しく対話力を高める内容になっている。(2年上p. 8, 3年上p. 14)</p> <p>○「物語の人物が答えます」では、登場人物役が読者役の質問に叙述をもとに答えるゲームが示されており、児童が興味をもって物語を読むよう工夫されている。(5年上p. 80)</p>	<p>○「主語と述語」や「しゅうしょく語」では、学力調査で課題の見られた主語・述語・修飾語の関係を初めて学習する際に、練習題を増やし、確実に定着を図っている。(2年上p. 30, 3年上p. 80)</p> <p>○「ミラクルミルク」や「ネコのひげ」では、要点を見つける手順や要約文を作る手順が示されており、児童が方法を理解できるように工夫されている。(3年上p. 45, 3年下p. 16)</p>	<p>○「日本各地の短歌」では、全国の地名や漢字、その土地ならではの短歌が結び付けられており、意欲的に学習できるように工夫されている。(4年下p. 62)</p> <p>○「こんなものがほしいなあ」や「言葉について調べよう」では、全ての教科の基盤となる言語能力を育てるため、他教科の学習でも活用できる言語活動が多く取り入れられている。(2年下p. 38, 5年下p. 70)</p>	<p>○「昔の物語を楽しもう」という単元では、「ヤマタノオロチ」が紹介され、地域の文化に関心を高め、愛着や誇りをもつことにつながる内容になっている。(2年上p. 112)</p>	<p>○「話すこと・聞くこと」の領域では、複数ページで展開する活動の概要が単元の冒頭に一覧で提示され、「学習の見通し」をもてるよう配慮されている。(6年上p. 58)</p> <p>○「読むこと」領域の単元「ゆず」や「服を着たゾウ」では、児童の「つぶやき」の例が欄外に示されており、児童が文章と対話しながら読む手掛かりとなるよう工夫されている。(5年下p. 76, 6年下p. 46)</p>

選 定 に 必 要 な 資 料

記号	選定に必要な資料の観点						総括
	1 内容、程度、分量等	2 教材の選択や構成等	3 興味・関心への配慮等	4 教科の特性、県の実態や課題への適合等	5 各教科等及び実生活との関連についての工夫	6 その他	
F	<p>○5、6年でも上下2分冊になっており、文章量が増え、内容が複雑・高度になる高学年において、ゆとりをもったページ構成になるよう工夫されている。</p> <p>○6年の上下巻の付録では、読み物資料が3つ掲載されており、児童の興味や実態に合わせて学習できるよう工夫されている。(6年上p.126, 6年下p.116, p.134)</p>	<p>○「『発見ノート』を作ろう」や「『情報ノート』を作ろう」「図に表して考えよう」では、多様なノートの取り方のこつや工夫が具体的に示され、児童の意欲化を図っている。(3年上p.32, 5年上p.38, 6年上p.20)</p> <p>○「世界の人に伝わるように」では、タイムリーなオリンピック競技のピクトグラムを題材として取り上げている。(3年下p.5)</p>	<p>○「本を読もう」では、紹介されている本の書名、著者名だけでなく、あらすじが記載されており、読書意欲が喚起されるよう工夫されている。(5年下p.63)</p> <p>○「まんがの方法」では、児童が好きな「漫画」の面白さや秘密について書かれており、意欲的に考えを深めるよう工夫されている。(5年下p.87)</p>	<p>○「世界遺産 白神山地からの提言」では、文章と図表、写真など、多様な資料を関係付けて意見文を書く力を育てるための学習過程が重視されている。(5年下p.5)</p> <p>○「言葉と私たち」では、3名の著名人が書いたメッセージを読み取り、そこから自分の考えをまとめ表現する活動が示されている。(6年下p.72)</p>	<p>○「調べてわかったことを発表しよう」では、探究的な学習過程が一つの単元の中で網羅されており、他の課題解決的な学習にも応用できる構成になっている。(4年下p.94)</p> <p>○「図に表して考えよう」では、イメージマップやベン図などの思考ツールが示されており、各教科等での学習でも考えを整理したり課題について話し合ったりする場面で生かせる工夫がされている。(6年上p.18)</p>	<p>○「ごじゅうおん」では、色調のバランスだけでなく形の上でも区別しやすいよう配慮されており、五十音表を縦や横に読む際の負担感をなくすよう工夫されている。(1年上p.42)</p>	<p>○2年以上の巻頭には、「〇年生で学ぶこと」が設置され、これからどんなことを学ぶのか、どんな国語の力が身に付くのか、一年間の学習が系統的に示されている。(5年上p.4)</p> <p>○単元末の手引きに見開き1ページで、上段に学習のながれが、下段に児童の反応が示されており、単元全体の流れを具体的に見通せるよう工夫されている。(6年上p.60)</p>
I	<p>○5、6年においては、中学校への移行を考慮して、また、自主的・主体的に既習事項を確認しやすくするため、分冊ではなく1冊の教科書で対応している。</p> <p>○1年上は、明るく楽しい絵とストーリーで始まり、想像豊かに、楽しく学べるよう工夫されているとともに、1年児童の発見力や話す力を生かした教材になっている。(1年上p.1-8)</p>	<p>○「情報の扱い方」に特化して、単元と密接に関連させ、言語活動の中で確実に力が付くよう、2年以上に4つの教材系列「考えるときに使おう」「関係をとらえよう」「集めるときに使おう」「調べるときに使おう」が配置されている。(6年上p.7, 5年上p.57, 4年上p.86, 3年下p.50)</p> <p>○「詩のくふうを楽しもう」では、様々な楽しみ方ができる詩が紹介されている。(3年下p.88)</p>	<p>○「カンジューはかせの大はつめい」や「カンジューはかせの音訓かるた」では、カンジュー博士というキャラクターが登場し、ゲームを交えて楽しく漢字を覚えている。(2年下p.104, 3年下p.92)</p> <p>○「山小屋で三日間すごすなら」では、身近な課題に取り組み、対話することの価値を実感することで、日常生活に必要なコミュニケーション能力の育成が図られるよう話題と活動が工夫されている。(3年上p.116)</p>	<p>○「よりよい学校生活のために」では、思考ツールの一つである座標軸が、思考を整理・分析するための方法として示されている。他にも「考えを図で表そう」では、イメージマップなど多様な思考ツールが紹介されている。(5年上p.132, 6年上p.254)</p> <p>○「言葉の意味が分かること」では、文章の要旨をとらえる方法や150字以内でまとめる活動が示され、要約する力が高められるよう工夫されている。(5年上p.54)</p>	<p>○単元末に「たいせつ→いかそう」「ふりかえろう→つなぐ」という確認事項があり、既習事項を他教科の学習や実生活に生かす意識を高める工夫がされている。(4年下p.41)</p> <p>○原稿用紙の正しい使い方を確認し、様々な教科の「書くこと」に生かせるよう付録に「げんこう用紙の使い方」が配置されている。(2年下p.138, 3年上p.138, 4年上p.134)</p>	<p>○地域に伝わる民話や神話として「いなばの白うさぎ」が紹介され、地域の文化に関心を高め、愛着や誇りをもつことにつながる内容になっている。(2年上p.38)</p>	<p>○「話すこと・聞くこと」「書くこと」領域の単元には「学習の進め方」が冒頭に位置付けられ、活動の順序を意識できるよう配慮されている。「読むこと」領域の学習においても、単元末に上下2段組み構造をとることで流れが見通しやすくなるよう工夫されている。(6年上p.40, p.124)</p> <p>○説明文の学習では、主教材の前に、「練習」として短い説明文が見開きで示されており、児童が既習事項を生かして読む力が高まるよう工夫されている。(6年上p.46)</p>

選 定 に 必 要 な 資 料

記号	選定に必要な資料の観点						総括
	1 内容、程度、分量等	2 教材の選択や構成等	3 興味・関心への配慮等	4 教科の特性、県の実態や課題への適合等	5 各教科等及び実生活との関連についての工夫	6 その他	
F	<p>○「横画」の筆使いでは、見開き2ページで筆の使い方を示し、筆先の向きなどを自分でも確かめられるよう工夫されている。(3年p.12,13)</p> <p>○「あこがれ」では、見開き2ページで、ひらがなの書き方について筆先の写真やポイントを示し丁寧に説明されている。(5年p.28)</p>	<p>○低学年では、なぞり書きができる文字が14か所設けられ、なぞることで定着が図られるよう工夫されている。(1年p.14,15)</p> <p>○「学習の始めと終わりに書こう」として、授業前後の硬筆での確かめができるよう工夫されている。(3年以上)</p>	<p>○世界の「こんにちは」として、世界のあいさつを書き文字で表現し、世界の文字文化への興味・関心を高める工夫がされている。(4年p.1)</p> <p>○文字の組み立て方では「土地」と「岩山」の二つから選択して書くようにしてあり、自分でコースが選べるよう工夫されている。(4年p.36)</p>	<p>○「かたかなのひょう」ではそばにその文字を使う言葉とイラストをおくことで、言葉として意識して書けるよう工夫されている。(1年p.47)</p> <p>○イラストや写真で子ども同士が関わり合う様子を示すことで、友達同士で伝え合う学習ができるよう工夫されている。(6年p.31)</p>	<p>○「レッツトライ」では、身に付けた書写の力を各教科で使えるように色々な教科での書き方を紹介している。(4年p.26,27)</p> <p>○「知りたい文字の世界」では、文字と生活のつながりについて紹介し、文字への興味・関心を高めるよう工夫されている。(6年p.24)</p>	<p>○手書き文字と近い形の書体(UDデジタル教材書体)を採用している。</p> <p>○振り返りが三段階で自己評価できるように工夫されている。(2年p.15)</p>	<p>○試し書き、考える、確かめ、まとめ書きの順番で学習を構成するようにしている。(5年p.22)</p> <p>○身に付けた書写の力を各教科と結び付けられるよう工夫されている。(5年p.30)</p>
I	<p>○教科書のページ数を減らすことで、入門期の児童への負担を軽減できるよう工夫されている。(1年)</p> <p>○各学年の「言葉を楽しもう」では、学年に合った内容を選び、なぞって言葉が味わえるよう工夫されている。(4年p.30)</p>	<p>○「書写ブック」では6年間で身につけた力を確認し、日常生活で生かせるよう書写の要素をまとめ、主体的に学習が行えるよう工夫されている。(6年p.19)</p> <p>○木へんと木の違い、雨かんむりと雨の違いを色を変えて重ねて記載しており、違いが分かりやすく工夫されている。(4年p.8,12)</p>	<p>○3年の毛筆導入学年においては「たしかめようシール」を用い、始筆・送筆・終筆など点や画の書き方や方向が確かめられるよう工夫されている。(3年p.1)</p> <p>○「自分だけの一文」では、同世代の有名な書いた一文とともにコメントを紹介している。(6年p.40)</p>	<p>○3年以上の「漢字図鑑」のコーナーでは、漢字の成り立ちがイラストで解説されて、児童の文字への興味・関心が高まるよう工夫されている。(5年p.31)</p> <p>○「たいせつ」は、児童の主体的な学習の助けとなるように構成され、巻末にまとめて掲載されており、焦点化と系統性について工夫されている。(2年p.34,6年p.40)</p>	<p>○「わすれものゼロ作せん」として連絡帳の書き方を紹介して、毎日書く連絡帳への意識付けができるよう工夫されている。(2年p.33)</p> <p>○学年の「まとめ」として「六年生を送る会に向けて」をテーマにして、書写と活動とを関連付けるよう工夫されている。(5年p.36)</p>	<p>○手本にある二次元コードをタブレットで読み取れば、動画が閲覧でき、筆使いの確認やグループ学習に活用できるよう工夫されている。(6年p.17)</p> <p>○2年生の始めから漢字の「書きじゅん」で始まり、書き順が大切であることを意識させるよう工夫されている。(2年p.6)</p>	<p>○手指の運動性を重視し、「書写体操」を推奨してよい姿勢を維持できるようにしていたり、空書き指導を採用したりして、体を使って書くことを意識付けするよう工夫されている。(1年p.2,3年p.57)</p> <p>○説明やイラストを最小限に抑え、大切なことがみてるように紙面が構成されている。</p>

選 定 に 必 要 な 資 料

記号	選 定 に 必 要 な 資 料 の 観 点						総 括
	1 内容、程度、分量等	2 教材の選択や構成等	3 興味・関心への配慮等	4 教科の特性、県の実態や課題への適合等	5 各教科等及び実生活との関連についての工夫	6 その他	
L	<p>○学習したことをもとに漢字の書き順の1画目を赤鉛筆で塗る欄を設け、自分で書き順を意識できるよう工夫されている。(2年p. 19)</p> <p>○たて画が「川」、はらいが「人」を採用しており、その学習で重点的に指導する筆使いを絞るよう工夫されている。(3年p. 14, 18)</p>	<p>○全学年を通して、めあてと振り返り(だるま)、考える(カエル)確かめる(カメ)いかす(イカ)といった動物などのイラストで、学習の流れが明確になるよう工夫されている。(2年p. 19)</p> <p>○手紙の書き方ではエメールの紹介があり、相手意識をもってアルファベットを書かせよう工夫されている。(5年p. 40)</p>	<p>○巻末に水書きシートを付け、筆圧の変化を伴う運筆で手指の動きを体感できるよう工夫されている。また厚紙であり、管理面においても工夫されている。(1・2年)</p> <p>○全学年で一貫したキャラクター(パンダ)がポイントやアドバイスを示しており、児童が自分で意識しながら進められるよう工夫されている。(全学年)</p>	<p>○「書初め」と「まとめ」では「わたしのめあて」を立て、主体的に学習できるよう工夫されている。(3年p. 35, 41)</p> <p>○「国語の広場」では、日常生活の中の書く場面において掲載したり、「生活と書写」では3-6年生までを通して主に手紙の書き方を詳しく掲載したりして、日常生活に生かすよう工夫されている。(3年p. 42, 4年p. 40)</p>	<p>○「言葉の窓」では語彙を扱った教材を掲載し、語彙指導の改善・充実を関連付けるよう工夫されている。(4年p. 34)</p> <p>○「手書き文字と活字」では、活字にあふれた日常生活に目を向け手書きの意義を考えられるよう工夫されている。(6年p. 2)</p>	<p>○新出漢字の書き順について数字ではなく字面を増やした漢字をそばに掲載している。(2年p. 21)</p> <p>○復興支援ソングの一節を「書く」教材として掲載し、未来に向かって前進する学びとなるよう工夫されている。(6年p. 35)</p>	<p>○考える、確かめて書く、生かして書くという流れで学習が進むよう工夫されている。(2年p. 19)</p> <p>○毛筆学習の導入部で写真や解説を多く取り入れており、自主的に準備や片付けができるよう工夫されている。(3年p. 3-8)</p>

選 定 に 必 要 な 資 料

記号	選定に必要な資料の観点						総括
	1 内容、程度、分量等	2 教材の選択や構成等	3 興味・関心への配慮等	4 教科の特性、県の実態や課題への適合等	5 各教科等及び実生活との関連についての工夫	6 その他	
A	<p>○「つかむ」「調べる」「まとめる」などの学習段階が示され、問題解決に向けて児童が主体的に取り組めるように配慮されている。</p> <p>○「活用のポイント」がドラえもんのイラストで示されており、「社会的な見方・考え方」が促されるよう工夫されている。(5年上 p. 24)</p>	<p>○「市のうつりかわり」を表す3つの絵や地図が見開き2ページに納められており、今と昔の様子について比較しやすいよう配慮されている。(3年p. 122)</p> <p>○「特色ある地いきと人々の暮らし」では、東日本大震災の影響や復興に関連した資料が取り上げられており、いろいろな社会現象のつながりについても考えられるよう配慮されている。(4年p. 146)</p>	<p>○「Dマーク」が示された箇所では、デジタルコンテンツでクイズや動画が用意されており、学習への興味・関心を高め、家庭学習にも活用できるよう工夫されている。(6年歴史編p. 38)</p> <p>○4年の「日本地図を広げて」では、47都道府県の形と特徴を手がかりに名前を答えるクイズがあり、都道府県や日本地図に対する興味・関心が高められるよう工夫されている。(4年p. 10)</p>	<p>○「残したいもの伝えたいもの」では、松江城の取り壊しの危機を救った人々のことや松江市の地域の文化財を活用した町づくりについて取り上げられている。(4年p. 136)</p> <p>○6年「今に伝わる室町文化」では、雪舟が島根県を訪れたことが本文の中に記述されている。(6年歴史編 p. 58)</p>	<p>○「いかす」場面で、学習したことを生かして「ポスターにして伝える」など、社会的な事柄に参画したり、提案、発信したりする学習活動が紹介されている。(3年p. 140)</p> <p>○「教科関連マーク」で、他の教科との関連が明示されており、教科横断的な視点から学習に取り組むことができるよう配慮されている。(4年p. 76, 5年上 p. 76)</p>	<p>○3年-5年の巻末に、その学年で学んだことや学び方の振り返りがまとめられており、次の学年に生かせるよう配慮されている。</p> <p>○5・6年の教科書は、2分冊構成されており、資料内容が充実するよう配慮されている。</p>	<p>○「社会的な見方・考え方」を働かせながら問題解決的な学習を進められるように、「まとめる」場面では多様な表現活動を示し、習得した知識の定着と調べたことをもとに考え、表現することができるよう工夫されている。(4年p. 130, 5年上 p. 108)</p> <p>○児童が学習したことを書き込むページが多くあり、学習した内容を定着させるように配慮されている。(4年 p. 48, 6年歴史編p. 54)</p>
F	<p>○各小単元に「学習計画を立てる場面」が例示してあり、問題解決的な学習が効果的に行えるよう配慮されている。(3年p. 66)</p> <p>○社会科の見方・考え方である「場所や広がり」「時期や変化」「くふうや関わり」「比べる」「関連づける」「総合する」を例示したコーナーを設け、社会科学習の視点や方法についての意識づけを図れるよう配慮されている。(6年p. 3)</p>	<p>○歴史年表が裏表ではなく、3つ折りのページを開くと古代から現代まで見通せる形になっている。また、歴史年表の読み取り方や「世紀」や「時代」という用語の解説や年表の見方が年表の裏に記載されている。(6年 p. 69)</p> <p>○6年生では、写真や想像図のスペースが大きく、資料から読み取る力を育てられるよう配慮されている。(6年 p. 75)</p>	<p>○児童が普段目にする世界地図と異なる向きや地図が掲載されており、多様な見方を引き出したり地図への関心を広げたりできるよう工夫されている。(5年 p. 6)</p> <p>○5年生の教科書の巻末では、日本地図を中心に食料生産や工業生産の様子などがまとめられ、学習を振り返ると同時に日本の産業などへの興味・関心を高められるよう配慮されている。(5年p. 246)</p>	<p>○すべての学年で人口減少に関わる教材が取り上げられており、島根県の大きな課題である少子高齢化問題について主体的に考えることができるよう配慮されている。(3年 p. 157, 4年p. 73, 5年 p. 137, 6年p. 42)</p> <p>○6年の安土桃山時代の学習では、石見銀山が秀吉の天下統一を支えたことや世界遺産に登録されていることが記述されている。(6年 p. 133)</p>	<p>○全学年で「ひろげる」というコーナーがあり、これまで学習した内容を使って実生活のことを探究できるよう工夫されている。</p> <p>○3年の店で働く人の学習では、児童が普段生活の中でよく目にするレシートを教材として取り上げたり、「買い物のしくみ」について説明したりするなど、生活場面とのつながりが意識されている。(3年p. 48)</p>	<p>○3年の巻末では、社会科の学習の進め方(ガイド)があり、電話のかけ方や手紙の書き方など、調べるための方法が具体的に示されている。(3年p. 160- p. 171)</p> <p>○5・6年では、最初のコーナーに「ノートのかき方の例」が紹介してあり、年度当初のノート指導に活用することができる。(5年p. 3)</p>	<p>○各学年巻頭には、「学びのてびき」が多く示されており、「社会的な見方・考え方」についてどの単元においてどんな学習や指導計画を立てやすくなるよう工夫されている。</p> <p>○「この時間の問い」で各時間の問いを例示するとともに、終末の「次につなげよう」で、次の時間の問いにつながりがもてるよう配慮されている。(6年 p. 92)</p>

選 定 に 必 要 な 資 料

記号	選 定 に 必 要 な 資 料 の 観 点						総 括
	1 内容、程度、分量等	2 教材の選択や構成等	3 興味・関心への配慮等	4 教科の特性、県の実態や課題への適合等	5 各教科等及び実生活との関連についての工夫	6 その他	
L	<p>○問題解決的な学習が進められるように、「学習問題」「学習の計画」「まとめ」という学習過程が明示され、見通しをもって学習に取り組めるよう配慮されている。</p> <p>○「見方・考え方コーナー」を設け、「社会的な見方・考え方」（空間・時間・相互関係）を働かせて問題解決的な学習に取り組むことができるよう配慮されている。(4年 p. 54, 6年 p. 31)</p>	<p>○ごみ処理場やリサイクルプラザのしくみについて大切な工程を取り出して説明してあったり、大分市の「3きり運動」が紹介してあったりして、児童が生活の中で具体的な取組を想像しやすいよう工夫されている。(4年 p. 32-35, p. 40)</p> <p>○6年「憲法と政治のしくみ」では、夜間中学校を取り上げ、学ぶ権利について児童が考えることができるよう配慮されている。(6年 p. 17)</p>	<p>○各単元の終末に、「さらに考えたい問題」「わたしたちの学びを生かそう」が設けてあり、各単元での学びをさらに深めることができるよう工夫されている。(5年 p. 127, p. 130)</p> <p>○歴史年表の中に、「自分の年表をつくってみよう」というコーナーがあり、年表に対する興味・関心を高められるよう工夫されている。(6年巻末)</p>	<p>○出雲国風土記、隠岐の荷札が掲載されており、郷土の歴史や文化に関心を向けられるよう工夫されている。(6年 p. 68, p. 80)</p> <p>○大正時代の自由と権利を求める動きについて、山田孝野次郎や平塚らいてうの訴えを大きく取り上げてあり、人権・同和教育の学習として活用しやすい。(6年 p. 191)</p>	<p>○5年「情報社会に生きるわたしたち」では、情報が産業のさまざまなところで活用されていることを示すなど、これからの情報社会を生きる児童に必要な資質を身に付けさせられるよう工夫されている。(5年 p. 200)</p> <p>○エルトゥールル号遭難事件が詳しく紹介されており、道徳科の授業と関連して学習することができる。(6年 p. 192)</p>	<p>○3年の棒グラフの資料は、○や□を積み立てた形で、資料を読みやすいよう工夫されている。(3年 p. 107)</p> <p>○3年の地図作り活動では、発見カードや分かりやすい地図の表し方が示してあり、社会科の学習に入りやすい工夫がされている。(3年 p. 14-19)</p>	<p>○イラストの吹き出し等を活用して、児童が話し合う場面を充実させ、意見を出し合うことで児童の考えが深まっていく学び合いの場面を効果的に設定している。(3年 p. 120)</p> <p>○調べたことをまとめたり、ふり返ったりする場面では、個人のふり返りノート为例示することで、児童が各自のノートを活用し、深い学びが実現できるよう配慮されている。(3年 p. 121)</p>

選 定 に 必 要 な 資 料

記号	選 定 に 必 要 な 資 料 の 観 点						総 括
	1 内容、程度、分量等	2 教材の選択や構成等	3 興味・関心への配慮等	4 教科の特性、県の実態や課題への適合等	5 各教科等及び実生活との関連についての工夫	6 その他	
A	<p>○A 4判、全102ページの構成で、全体的に多くの情報が掲載された地図になっている。(p. 27, 28)</p> <p>○地図学習の導入時の8ページのうち、6ページを上空からまちを見る鳥瞰図、2ページを「地図帳の使い方」とし、3年生からの学習を意識した構成になっている。(p. 7-14)</p>	<p>○空路、高速道路、新幹線、航路の写真を掲載し、交通機関のイメージと広がりの様子が分かりやすく工夫されている。(p. 20-22)</p> <p>○「南西諸島」と「福井県・石川県・富山県」、「新潟県」、「オセアニア」については、全体像が分かるように示されている。(p. 17-19など)</p>	<p>○「くらべてみよう日本と世界」では、日本と世界の山、川、湖、建物、気候などをビジュアル的に比較し、興味を持てるよう工夫されている。(p. 81, 82)</p> <p>○多数の児童のキャラクターやはかせ・船長のキャラクターを随所において、地図活用の手がかりになるよう工夫されている。(p. 5)</p>	<p>○竹島を中国地方のページで取り扱っている。写真と解説とともに竹島の詳細図が掲載されている。(p. 27)</p> <p>○「日本の歴史と文化」では、石見銀山(写真)・松江城(イラスト)・出雲大社(イラスト)が世界遺産等として紹介されている。(p. 79, 80)</p>	<p>○「地図のぼうげんに出発」では、世界各地の特徴的な建物や動物などのイラストを多用し、外国語活動などに活用できるようになっている。(p. 1, 2)</p> <p>○「日本の歴史」では、年表と地図を関連付けて、歴史学習への関心を深められるよう工夫されている。(p. 75-78)</p>	<p>○Dマークを設け、学習を補完するデジタルコンテンツや学習を深めるWebサイトへリンクできるようにしている。(p. 80)</p> <p>○日本と世界の統計の枠を広めに設定することで、見やすくなるよう工夫されている。(p. 83-86)</p>	<p>○「地方別に見る地図」では高低差、「くわしく見る地図」では土地利用に着目できるよう工夫されている。(p. 45-48)</p> <p>○イラストや写真、キャラクター、俯瞰図などを多めに用いて、児童の興味・関心を高められるよう工夫されている。</p>
J	<p>○A 4判、全120ページの構成で、全体的に見やすさを考慮した情報量の地図になっている。(p. 41, 42)</p> <p>○「地図のやくそく」「地図帳の使い方」など基本的な事項を12ページを使って扱い、3年生から学習できる構成になっている。(p. 7-18)</p>	<p>○「広く見わたす地図」で各地方の大まかな様子を掲載している。(p. 19-28)</p> <p>○「アジア」「ヨーロッパ」など世界を扱う際には、地勢と行政の双方から理解できるよう工夫されている。また、「アメリカ合衆国」の拡大図を設けている。(p. 75-86)</p>	<p>○「瀬戸内海周辺」、「自動車産業のさかんな愛知県」、「北海道地方南部」を掲載し、その地方の産業や土地利用の様子が理解できるよう工夫されている。(p. 41, 42, 55, 71, 72)</p> <p>○各ページで「地図マスターへの道」を使って、地図活用の力が身に付くよう工夫されている。</p>	<p>○竹島を中国地方のページとともに、「日本の領土とそのまわり」の中で日本固有の領土として取り上げ、写真と解説を踏まえながら紹介している。(p. 29, 30)</p> <p>○「日本の歴史と世界文化遺産」の中で、石見銀山(写真)が明記されている。(p. 101, 102)</p>	<p>○「世界発見」では、世界のこんにちはを掲載し、外国語活動などでも活用できるようになっている。(p. 1, 2)</p> <p>○「日本の自然災害と防災」では、各地の防災対策を調べたり、防災マップの作り方を学んだりして、防災意識が高まるよう工夫されている。(p. 91-94)</p>	<p>○二次元コードを設け、様々な映像や資料をみることができるようになっている。</p> <p>○「日本の領土とそのまわり」では、日本の領土と周辺地域を行政地図で表し、日本の範囲がはっきり分かるよう工夫されている。(p. 29, 30)</p>	<p>○「地方別地図」では、高低差と土地利用を合わせた地図表現で統一され、人の営みと産業の様子が分かるように工夫されている。</p> <p>○地図の使い方や各種グラフ、行政地図などを多く用いて、基本的な知識・技能が身に付くよう工夫されている。</p>

選 定 に 必 要 な 資 料

算 数 No. 1

記号	選定に必要な資料の観点						総括
	1 内容、程度、分量等	2 教材の選択や構成等	3 興味・関心への配慮等	4 教科の特性、県の実態や課題への適合等	5 各教科等及び実生活との関連についての工夫	6 その他	
A	<p>○1年生の入門期に使用する教科書はA4版になっており、イラストが大きくなったり、フラットに開いたりすることによりブロック操作がしやすくなるよう工夫されている。</p> <p>○「算数のしあげ」は、問題数が豊富で、学習内容を振り返りながら分かりやすく復習できるよう工夫されている。(6年p.198)</p>	<p>○「わり算や分数を考えよう」では、大きい数のわり算と分数を関連付けた一単元を設定し、下巻の「分数」に考え方がつながるよう配慮されている。(3年上p.114)</p> <p>○数学的活動を分かりやすく可視化したページ「今日の深い学び」を掲載し、話し合いやノートづくりの参考にすることができるよう工夫されている。(3年以上)</p>	<p>○単元の導入は児童の対話で構成されており、日常生活や生活経験を話題として学習意欲が高まるよう工夫されている。(3年p.165)</p> <p>○2年「グラフとひょう」では、目的を明確にすることで興味をもって学習できるよう工夫されている。(2年上p.8)</p>	<p>○問題を解く過程において具体的なノート指導(式のかき方など)が1年の前半から段階的に取り上げられ、考えを書くことに慣れるよう配慮されている。(1年下p.52)</p> <p>○倍に関する内容を単元化して、三用法をセットで扱い、常に三用法を相互に関連付けてとらえることで、倍についての理解を深められるようにしている。(3年下p.73)</p>	<p>○単元末の「生かしてみよう」では、学びを日常と結び付けたり、算数のよさを実感したりできるよう工夫されている。(3年下p.18)</p> <p>○「算数で読みとこう」では、実生活や他教科と関連したテーマで、グラフや表といった非連続のテキストを読み取る力が育成できるよう工夫されている。(5年下p.126)</p>	<p>○「直方体や立方体の体積」では、いろいろな解き方を考えられるように付録が用意されている。(5年上p.21,155)</p> <p>○「算数卒業旅行」を設け、中学校へスムーズな移行ができるよう工夫されている。(6年p.228)</p>	<p>○「今日の深い学び」では、数学的活動を視覚化するとともに「算数マイノート」を学習に生かそう」でノート事例に加えて、活用方法も例示している。(3年下p.79-83)</p> <p>○幼小、または小中の円滑な接続のために、紙面の大きさや内容が工夫されている。</p>
B	<p>○各学年1冊で構成されており、振り返りや学び直しがしやすいよう配慮されている。</p> <p>○どの学年も毎時の適用問題や単元のまとめ問題では、水色の印で問題のタイプ分けを提示しており、授業時間や児童の習熟度に応じて、柔軟な扱いができるよう工夫されている。</p>	<p>○実物の写真の吹き出しで、児童が話しているようにすることで、少人数の学級でも、比較検討し話し合いが深まるよう配慮されている。(5年p.19)</p> <p>○「じっくり深く学び合おう！」では、紙面の端に学習の過程を示したタグが付いており、どの活動を行っているか意識できるようにしている。(4年p.127,128)</p>	<p>○「ふくろう先生のなほ算数教室」を設定し、算数の面白い問題や話などを載せ、興味・関心が高まるよう工夫されている。(6年p.150)</p> <p>○「時こくと時間」を夏休み前に位置付けることで休み中に児童自身が生活の中で時間の管理ができるよう配慮されている。(2年p.86)</p>	<p>○5年「帯グラフと円グラフ」では目的に合わせたグラフに作り変える活動を入れるなど、グラフの内容を読み取りたりグラフを書いたりする力を高められるよう工夫されている。(5年p.178)</p> <p>○巻末に「ひらめきアイテム集」を用意し、直接書き込むことで考え方についてまとめ、整理することができる。(2年以上)</p>	<p>○「他教科リンクマーク」をつけ、他教科のどんな場面につながっているかを示してあり、幅広く活用しようとする態度を育てるよう工夫されている。(全学年)</p> <p>○「算数お仕事インタビュー」では、仕事に算数を生かしている人を動画付きで取り上げることで、算数と実生活とを関連付け、キャリア教育にもつながるよう配慮されている。(3年以上)</p>	<p>○4年生では、雲州そろばんの写真が掲載されており、島根に関連した教材となっている。(4年p.196)</p> <p>○巻末に図形のシートをいくつか準備し、自分や友達の考えをノートにまとめることができるよう配慮されている。(4年p.281,5年p.281)</p>	<p>○学習のまとめには考え方に焦点をあてた「発見!考え方」としてまとめたり、より汎用的に使える見方・考え方を「ひらめきアイテム集」として設定したりすることで、より思考力が育成されるよう配慮されている。(全学年)</p> <p>○学年1冊本にしたりと、リンクマークを設置したりすることで、丁寧に振り返ったり他教科とのつながりを重視したりした構成になっている。</p>

選 定 に 必 要 な 資 料

算 数 No. 2

記号	選 定 に 必 要 な 資 料 の 観 点						総 括
	1 内容、程度、分量等	2 教材の選択や構成等	3 興味・関心への配慮等	4 教科の特性、県の実態や課題への適合等	5 各教科等及び実生活との関連についての工夫	6 その他	
D	<p>○紙面が全学年A B版のため開きやすく作業がしやすい。また、余白を多くして視覚的に見やすい作りになっている。</p> <p>○6年に別冊をつけ、「算数で見つけた考え方」を振り返ると同時に、中学校の内容の一部に触れることができるようにすることで、中学校の学習へスムーズに繋げられるよう配慮されている。</p>	<p>○ページの左側に思考の流れを、右側に見方・考え方をまとめる編集となっている。(3年上p. 63, 64)</p> <p>○5年「単位量あたりの大きさ」と「割合」がそれぞれ2単元に分かれており、年間を通して継続して学ぶことができる単元構成になっている。(5年上p. 50, 98)</p>	<p>○算数で身につけたい考え方を9つのモンスターとしてキャラクター化することで、子どもが楽しみながら「数学的な見方・考え方」を身につけることができるよう工夫されている。</p> <p>○各単元の導入は、日常生活など身近なことや算数の事象中から問題を発見するようになっており、興味・関心が高まるよう工夫されている。</p>	<p>○4年生から数直線と4マス関係表を取り入れ、問題文の構造を把握し立式できるよう工夫されている。(4年下p. 61)</p> <p>○「ふりかえろう つなげよう」のページでは、学年や単元を超えて学習を振り返り、まとめてみることで深い学びにつながるよう工夫されている。(5年上p. 142)</p>	<p>○5年以上の索引(各巻末)には、数学用語や記号の英語表記がついている。(5年上p. 160)</p> <p>○5年「平均」では、理科の振り子の実験結果を取り上げ、算数の有用性を味わえる工夫がされている。(5年上p. 44)</p>	<p>○全学年でプログラミング的思考を取り上げており、筋道を立てて考える力を高められるようにしている。(1年下p. 70)</p> <p>○「今の自分を知ろう」では、身についた算数の力を自己評価することが確認することができる。(4年下p. 144)</p>	<p>○A B版の教科書により書き込んだり、作業したりしやすいつくりになっており、数学的活動を取り込んだ学習を展開しやすい。</p> <p>○倍の意味を考える際に、テープ図や2本数直線、4マス関係表を使ってより理解が深まるよう工夫されている。(5年上p. 96)</p>
F	<p>○各領域を貫く数学的な見方に焦点を当てた「算数のミカタ」が単元の間や巻末に掲載され、学びと学びをつなぐ役割を果たしている。(5年p. 205, 294, 295)</p> <p>○「センスアップ」「算数ミニクイズ」「よくあるまちがい」など、教科書の下部にコラムがあり、知的好奇心に働きかける工夫がなされている。(3年下p. 40)</p>	<p>○単元の導入では、身近な題材を取り上げ、子どもが抱く疑問をキーワード化して学習に入る構成にしている。(4年上p. 108)</p> <p>○6年「円の面積」では、実際の大きさの図形が折り込みに掲載されており、マスを数えておよその面積を求める活動ができる。(6年p. 102, 103)</p>	<p>○単元のまとめでは、4コマ漫画で学習内容を楽しく振り返ることができるよう工夫されている。(2年下p. 89)</p> <p>○授業開きで用いる特設教材が各学年で用意されており、楽しく解決しながら学習のすすめるよう工夫されている。(2年上p. 7-9)</p>	<p>○3年のかけ算の筆算の導入から2本の数直線が使われており、倍の意味を図と関連付けて考えることができるよう工夫されている。(3年下p. 2, 3)</p> <p>○典型的なまちがいが起こりやすい問題には、考えるヒントやよくあるまちがいのコラムでポイントが確認できるよう工夫されている。(5年p. 183)</p>	<p>○2年「たし算」のように、身近な場面から問題をつくることのできるよう工夫されている。(2年上p. 22, 23)</p> <p>○「学んだことを使おう」では、それまでに学習したことを様々な場面で活用して問題解決を図れるようになっている。(5年p. 181)</p>	<p>○「友だちのノートを見てみよう」では他の人のノートのよいところを見つける活動を通して、段階的に学級全体の表現力を高めていく工夫がある。(4年上p. 40)</p> <p>○巻頭に折り込みで「学びの手引き」を設け、常に開いて主体的に学習を進めることができる。(6年p. 3)</p>	<p>○「はてな→なるほど→だったら」と、学びを深める大切な言葉(問い)で構成されており、深い学びにつながるような工夫されている。(6年p. 23-28)</p> <p>○巻頭に前年までの学びを振り返る「算数で使いたい考え方」が掲載され、数学的な思考の手掛かりとなる。(5年p. 6)</p>

選 定 に 必 要 な 資 料

算 数 No. 3

記号	選定に必要な資料の観点						総括
	1 内容、程度、分量等	2 教材の選択や構成等	3 興味・関心への配慮等	4 教科の特性、県の実態や課題への適合等	5 各教科等及び実生活との関連についての工夫	6 その他	
K	<p>○「図を使って考えよう」では、図の使い方やかき方を丁寧に指導し、数学的活動の充実が図れるよう工夫されている。(3年上p. 34-37)</p> <p>○割合のつまずきを解消するために、3年から関係図を用いて「倍」の意味を正しく理解できるよう系統立てて構成されている。</p>	<p>○4年「1けたでわるわり算の筆算」では、アルゴリズムを強調し手順を示すことで、プログラミング的思考の素地を培うことができるよう工夫されている。(4年上p. 40, 41)</p> <p>○巻末に教科書と同じ分度器をつけ、一斉指導の際に分度器の使い方が理解しやすいよう配慮されている。(4年上巻末)</p>	<p>○導入で「学習の入口」を設定し、既習事項や日常の問題から学習に入ることができるよう工夫されている。(2年上p. 102)</p> <p>○日常的な場面から数学的な見方・考え方を働かせて解くような問題を扱い、児童の興味・関心が高まるよう工夫されている。(6年p. 198)</p>	<p>○巻末の「もうすぐ○年生」では、まちがいやすい問題に★マークをつけて、意識して取り組めるように工夫されている。(5年p. 242, 243)</p> <p>○1～3年「買えますか？買えませんか？」、4年「見積もりを使って」では、結果の見積もりやたしかめの活動が充実するよう配慮されている。(3年下p. 104, 105)</p>	<p>○6年「ひろがる算数」では、キャリア教育との関連で、仕事や生活の中で算数が役に立つことが実感できるよう工夫されている。(6年p. 234-248)</p> <p>○学期末に「わくわく算数ひろば」を設定し、算数を実生活に生かせるよう工夫されている。(3年上p. 92)</p>	<p>○仁摩サンドミュージアム、雲州そろばん、出雲大社などが掲載されており、算数を身近に感じることができる。</p> <p>○3年「三角形」では、巻末に付録として色棒を付け、数学的活動の充実が図れるよう工夫されている。(3年下p. 58)</p>	<p>○3～6年では、学び合いの様子や図を用いた考え方など詳しく掲載し、実際の学習活動で活用できるよう工夫されている。</p> <p>○各学年で、ブロック図・テープ図・線分図・関係図を系統立てて扱い、発達段階に応じて用いることができるよう配慮されている。</p>
L	<p>○1年上巻では、幼稚園等での活動の写真を巻頭5ページにわたり掲載し、算数で学習する内容との繋がりを意識できるよう工夫されている。</p> <p>○巻末に習熟度に応じた問題が「算数マイトライ」としてまとめられている。</p>	<p>○折り込みページを使って学習展開と学び方が見える紙面の構成になっている。(5年上p. 30-33)</p> <p>○各巻に、教室での学習シーンを模した紙面構成の「自分でみんな」を2つずつ設け、対話を中心とした学習活動のモデルを示している。(3年上p. 75-77)</p>	<p>○2年「100より大きい数」では、色鮮やかなビー玉を教材にし、興味をもって取り組める工夫がある。また、ビー玉は具体物からドット図へ移行する手立てとなっている。(2年上p. 64, 65)</p> <p>○「マテマランドを探検しよう」では、テーマごとにまとめられた話題から、興味・関心に応じて課題を選択して学習が進められるよう工夫されている。(6年p. 204-209)</p>	<p>○巻末に「算数で使いたいことば・考え方」を設け、自分の考えを簡潔・的確に説明できるよう配慮されている。(2年以上の上巻末)</p> <p>○答えを導き出すための見方・考え方・方略を色分けしたカードにして示すことで問題解決の手掛かりとなるよう工夫されている。(3年上p. 21)</p>	<p>○全学年に「ハロー！算数(Hello!Math)」を設定し、身のまわりのことを調べるときに習得した知識や技能を生かせるよう工夫されている。(4年上p. 66)</p> <p>○「活用」では、算数で学習した単元や領域だけでなく、他教科や日常生活とも結びつけた総合的な算数の問題を扱っている。(6年p. 194, 195)</p>	<p>○「小数のかけ算・わり算」では、筆算の導入時の練習問題にマス目がついており、位を間違えないような配慮がされている。(5年上p. 62, 79)</p> <p>○すごろくなど、巻末の折り込みにゲームをつけて楽しく学習できるよう工夫されている。(3年上p. 157, 158)</p>	<p>○「資料の調べ方」では、学習のまとめにデータ活用による問題解決の流れを段階ごとにマンガを用いて表し、興味をもって活動ができるよう工夫されている。(6年p. 184-191)</p> <p>○5年の「こみぐあい」のように、単元内で学習した内容を単元末で再度取り上げることで苦手やつまずきを克服する工夫がされている。(5年下p. 17, 30)</p>

選 定 に 必 要 な 資 料

記号	選 定 に 必 要 な 資 料 の 観 点						総 括
	1 内容、程度、分量等	2 教材の選択や構成等	3 興味・関心への配慮等	4 教科の特性、県の実態や課題への適合等	5 各教科等及び実生活との関連についての工夫	6 その他	
A	<p>○各学年とも、問題解決の過程が明確になるよう、「理科の学び方」のページがあり、各学年に応じた身に付けたい「理科の力」が示してある。(各学年 p. 4, 5)</p> <p>○3年においては、文字が他学年より大きく、発達の段階に即している。また、各学年とも文章は、単語の途中で改行せず、文節で改行している。(6年 p. 24)</p>	<p>○「地球と私たちのくらし」では、環境という視点で、年間の学習内容を紹介しており、單元ごとの断片的な扱いにならないよう工夫されている。(6年 p. 11)</p> <p>○「花から実へ」では、落ちた花と落ちていない花に着目することで、花のつくりや受粉へと学習を進めているよう工夫されている。(5年 p. 52)</p>	<p>○「植物の発芽と成長」では、袋に入ったままの種子はなぜ発芽しないのかという身近な疑問を取り上げ、児童に單元への意欲付けを行っている。(5年 p. 21)</p> <p>○「動物のからだのはたらき」では、巻末に飛び出る人体模型があり、児童が興味をもって人体のつくりを学習できるよう工夫されている。(6年巻末)</p>	<p>○島根県の斐伊川の写真を含め、全国各地の河原の様子を掲載し、特徴を整理する学習の仕方が示されている。(5年 p. 76)</p> <p>○「電気と私たちのくらし」では、プログラミングの思考を養うために、人感センサーを用いた車作りが紹介されている。(6年 p. 160)</p>	<p>○全学年の巻末資料に「算数科で学んだことを活用しよう」を掲載し、算数科での学びとの関連を重視する工夫が取り入れられている。(3年 p. 169, 4年 p. 205, 5年 p. 173, 6年 p. 213)</p> <p>○問題解決の終末に、「学びを生かして深めよう」が設定され、学んだ知識と日常生活の事象等について思考させる工夫が取り入れられている。(4年 p. 60)</p>	<p>○A 4版で、従来より縦が40mm大きく、鮮明な写真も多く、図表等も見やすい。実物大のイラスト掲載もあり、工夫されている。(4年巻頭)</p> <p>○「生き物のくらしと環境」では、手順と写真が見やすいよう、教科書の向きを変えて使う工夫がみられる。(6年 p. 74)</p>	<p>○大判になった紙面に、写真・絵・図表等が効果的に配置され、児童が興味をもって学習に取り組み、「見方・考え方」の「見方」を示すなど、考えが深まるような配慮がされている。(6年 p. 15)</p> <p>○他教科(特に算数科)との関連が取り上げられており、学んだことを活用するための工夫がなされている。(3年 p. 169)</p>
B	<p>○問題解決の過程を重視して、定義などの説明文を実験から導き出される結論文と分けて記載している。(4年 p. 52)</p> <p>○各学年それぞれの、問題解決に必要な身に付けたい力が意識できるように、3年「問題を見つけよう」、4年「予想しよう」、5年「計画」、6年「考察」の表記部分に★印をつけている。(6年 p. 110)</p>	<p>○「わたしたちの体と運動」では、簡単な模型を作ることで、腕が動く仕組みや構造を児童が考えられるよう工夫されている。(4年 p. 121)</p> <p>○「私たちの生活と電気」では、音・光・熱・運動による発電を取り上げており、児童の学びを深める構成となっている。(6年 p. 171)</p>	<p>○3年・4年の巻末に「自然カード」、5年巻末に「災害・避難カード」、6年巻末に「理科すごろく」など児童が興味・関心をもって自然観察などができるよう工夫されている。</p> <p>○「ゴムや風の力」では、ゴムと風の力を合体させた車づくりを提示しており、ものづくりを通して理解が深められるよう配慮されている。(3年 p. 56, 61)</p>	<p>○「ものの燃え方」では、たたら製鉄の資料として、島根県安来市「和鋼博物館」と島根県出雲市「県立古代出雲歴史博物館」での展示物が紹介されている。(6年 p. 23)</p> <p>○「流れる水のはたらきと土地の変化」では、様々なデータを同ページに掲載し、複数の情報を合わせて考える紙面構成がとられている。(5年 p. 97)</p>	<p>○「地面のようすと太陽」「雨水のゆくえ」の学習内容では「社会科で学ぶこと」を設定し、他教科との関連を記載している。(4年 p. 89)</p> <p>○全学年の巻末にチャレンジ問題があり、児童が学習と身近な生活を結び付けたり、発展的な学びにつなげたりできるように配慮されている。(6年 p. 220)</p>	<p>○「水を守る森を大切にしよう」では、間伐材を使用したページを用い、環境保全の大切さ、ESDとの関連が図られている。(6年 p. 193)</p> <p>○「ゴムや風の力」では、パラリンピック選手の義足に関する科学技術を取り上げ、障がいのある人への関心を深めている。(3年 p. 56)</p>	<p>○単元末に「チャレンジ問題」が用意され、学んだ知識を活用したり、複数の資料から考えを深めたりできるように配慮されている。(6年 p. 220)</p> <p>○他教科との関連が明示されており、児童が他教科の学びと理科の学びを意識することができる構成となっている。(3年 p. 166)</p>

選 定 に 必 要 な 資 料

記号	選 定 に 必 要 な 資 料 の 観 点						総 括
	1 内容、程度、分量等	2 教材の選択や構成等	3 興味・関心への配慮等	4 教科の特性、県の実態や課題への適合等	5 各教科等及び実生活との関連についての工夫	6 その他	
D	<p>○3年「くらべる」、4年「関係づける」、5年「条件をそろえる」、6年「いろいろな方向からかんがえる」と、学年別の働かせたい考え方が明示されている。(各学年p. 4, 5)</p> <p>○単元導入ページの右下部分に身につけさせたい資質・能力を活動内容として示し、児童が見通しをもって学習に取り組めるよう配慮されている。(4年p. 17)</p>	<p>○「風のはたらき」では、風車を用いた実験が想定されており、風力発電との関連が学びやすい構成となっている。(3年p. 108)</p> <p>○「流れる水のはたらき」では、生け花用スポンジを使い水のはたらきで石の形が変わることについて、擬似的実験を行うことで、児童の思考を深めるよう工夫されている。(5年p. 108)</p>	<p>○「冬の星」では、導入場面に、人物と星座を対比させた写真を取り入れることで、実際の星空をイメージできるよう配慮されている。(4年p. 148)</p> <p>○「人のたんじょう」では、母体のお腹の中の様子を絵をかいて予想させ、調べ学習前の課題づくり、意欲付けが適切にできるよう配慮されている。(5年p. 163)</p>	<p>○「水溶液の性質」では、フローチャートを使い、水溶液の見分け方が整理されており、理科の「考え方」に沿った配慮がされている。(6年p. 169)</p> <p>○「もののとけ方」のろ過の仕方について、誤った器具の扱い方についても掲載し、目的や操作の意味を確認できるよう配慮されている。(5年p. 153)</p>	<p>○全学年の巻末に図書館での本を用いた調べ学習に関する内容を掲載し、図書館を活用し思考を深める配慮がなされている。(5年p. 178)</p> <p>○「植物を育てよう」では、計測器具を用いた観察だけでなく、手や腕などと比べるような説明文や写真が掲載されている。発見や気付きを大切に生活科との関連が図られている。(3年p. 41)</p>	<p>○「火山の噴火と地震」では、災害写真を掲載するにあたり、被災者への配慮文が掲載されている。(6年p. 136)</p> <p>○各学年とも、表紙には3名ずつ科学者の写真を掲載しており、学年の学習内容と研究者の関係が分かるよう工夫されている。</p>	<p>○全学年の表紙に科学者の写真を掲載したり、リード役として登場させたりしている。近代科学の発展を成し遂げた先人の偉業を取り上げる仕組みがみられる。</p> <p>○図書館活用教育を意識したページが、巻末の「調べる」のコーナーに配置されており、資料の探し方等について説明されている。(4年p. 195)</p>
F	<p>○各学年の発達段階に応じた「ノートのとおり方」のページがあり、実験前に結果の見通しを記述することを示し、児童が実験を構想する力をつけることができるよう工夫されている。(5年p. 9)</p> <p>○各ページの左側に問題解決の流れを矢印やキャラクターの登場によって表示し、学習段階を視覚的に捉えられるよう工夫されている。(5年p. 68-74)</p>	<p>○「天気の変化」では、見開き1ページに様々なデータ記載があり、児童自らの気づきによる問題発見ができるよう配慮されている。(5年p. 20, 21)</p> <p>○「ものの燃え方と空気」では、燃焼後の空気の有無から空気の成分変化へとつなげており、児童が実感をもって学べる構成となっている。(6年p. 13-16)</p>	<p>○「人や他の動物の体」では、ほぼ実物大の臓器の配置図が掲載され、児童の興味を引くよう工夫されている。(6年p. 50-53)</p> <p>○「流れる水と土地」では、流れる水のはたらきを確かめる実験に、タブレットの活用を促し、動画を振り返りながら説明できるよう配慮されている。(5年p. 129)</p>	<p>○「ふりこ」では、予想が確かめられた場合に得られる実験結果を見通して実験に取り組めるよう、児童の吹き出しが工夫されている。(5年p. 105)</p> <p>○「電流のはたらき」では、プロペラカーが前後に動く様子から電流の向きについての課題づくりを進めており、ものづくりのよさを活かした導入となっている。(4年p. 51, 52)</p>	<p>○全学年の巻頭に「自分たちの考えを伝えあい、学び合おう」を掲載し、国語科で学習した言葉の力の活用法を紹介している。(3年p. 9, 4年p. 7, 5年p. 7, 6年p. 7)</p> <p>○単元末の「科学のまど」、巻末「広がる科学の世界」を設置し、日常生活と学習内容をつなぐを意識させる工夫が取り入れられている。(5年p. 115, 6年p. 224-225)</p>	<p>○A4版で、従来より縦が15mm大きく、写真や図表等も見やすい。実物大のイラスト掲載もあり、工夫されている。</p> <p>○「電気の通り道」では、色覚特性に配慮した導線の表示がされており、ユニバーサルデザインに配慮されている。(3年p. 155-168)</p>	<p>○近年の話題に係る写真が採用されており、児童の興味・関心を高める工夫がされている。(6年p. 148)</p> <p>○全学年の巻頭に、「自分たちの考えを伝え合い、学び合おう」を掲載し、国語科で学習した言葉の力の活用法を紹介するなど、教科横断的な言語活動の充実を図っている。(3年p. 9)</p>

選 定 に 必 要 な 資 料

記号	選 定 に 必 要 な 資 料 の 観 点						総 括
	1 内容、程度、分量等	2 教材の選択や構成等	3 興味・関心への配慮等	4 教科の特性、県の実態や課題への適合等	5 各教科等及び実生活との関連についての工夫	6 その他	
H	<p>○発達の段階に応じ、理科の用語を使いながら図やグラフ、表などを用いて学習をまとめ、自分の考えを表現する力を養うための配慮がある。(5年p.41)</p> <p>○4年「電流のはたらき」において、LEDの極性について触れており、6年「人や他の動物の体」では、メダカの尾びれの血流観察が設定されるなどの内容が配置されている。(4年p.85,6年p.35)</p>	<p>○「太陽とかけを調べよう」の導入では、午前と午後のかげふみ遊びの様子を取り上げ、差異点による気づきを引き出すような手立てがなされている。(3年p.9)</p> <p>○「とじこめた空気と水のせいしつ」では、空気入りと水入りのペットボトルの手応え等の違いから学習を進めており、児童が主体的に課題づくりに関わる工夫がなされている。(4年p.21)</p>	<p>○「とじこめた空気と水のせいしつ」の空気であらうづくりでは、身近にある竹や紙玉で、玉の飛ぶ勢いの変化が体感できるよう紹介している。(4年p.23)</p> <p>○「人や他の動物の体」では、人との比較として魚を取り上げ、魚のえら呼吸における水の排出の様子を的確にとらえる工夫が取り入れられている。(6年p.27)</p>	<p>○「生き物のくらし」では、四季の変化を比較できるように、見開きページで4か所定点写真を掲載している。(4年p.8,50,110,144)</p> <p>○「人や他の動物の体」では、水中の酸素量を計る器具・方法を提示しており、えら呼吸の理解についても数値を用いて科学的に学べるよう配慮されている。(6年p.28)</p>	<p>○「豆電球に明かりをつけよう」では「かん電池のじょうずな使い方」を記載し、日常生活に役立てる方法を紹介している。(3年p.127)</p> <p>○「太陽とかけを調べよう」「ふりこの運動」の導入では、かげふみ遊びやブランコ遊びの中での気づきをもとに考えさせる手立てがなされている。(3年p.9,5年p.143)</p>	<p>○写真やイラスト、図表は島根と同じく自然豊かな長野県や中部地方を扱ったものが多く、文章内容も簡潔である。(4年p.8,9)</p> <p>○写真や文字の色調は、落ち着いたものが多く、児童に必要な情報がより伝わるよう工夫している。(4年p.60)</p>	<p>○身近な遊びや自然体験を多く取り入れており、理科に対する興味・関心を高める工夫が随所に取り入れられている。(4年p.31)</p> <p>○目次にその学年で扱う器具などの使い方のページも紹介されており、児童が自主学習等で立ち返りやすい編集になっている。</p>
K	<p>○各学年とも、本編の最後の「0年の理科をふり返ろう」に「理科の見方」が示してあり、単元の「学習の視点」が明確になっている。(3年p.164)</p> <p>○単元の導入と単元末に同じ問いかけ【考えてみよう】を掲載している。単元の前後学びの深まりを確認できるような配慮がなされている。(5年p.81-94)</p>	<p>○各学年とも、問題解決の過程がそれぞれ別のページになっており、児童の主体的な学びを大切にしている。(5年p.32-38)</p> <p>○「ヒトや動物の体」で、人の消化管模型を横列で持つ児童の写真や、血管の長さを地球と比較するイラスト等を掲載している。イメージ化しやすい配慮がなされている。(6年p.44)</p>	<p>○「月と太陽」では、月の満ち欠けモデルが巻末に添付されており、実際の見え方を確かめることができる。(6年巻末)</p> <p>○「ものが燃えるしくみ」では、実際に紙や木を空き缶の中で燃やす実験が設定されており、児童が興味・関心をもって学習できるよう工夫されている。(6年p.10)</p>	<p>○実験器具を取り扱うページに二次元コードが配置されており、ろ過の使い方等を動画によって確認できるよう配慮されている。(5年p.147)</p> <p>○巻末「理科の考え方ははたらかせよう」では、ノーベル賞受賞者をはじめ、各学年にふさわしい科学者を紹介している。(3年p.178)</p>	<p>○各単元末に「つなげよう」を設定し、学んだ知識と現象を結び付け、発展的に考えることができるよう工夫されている。(3年p.53,4年p.25,5年p.28,6年p.22)</p> <p>○各学年とも巻末「資料室」に「算数のまじり」を設定し、算数の技能を用いてデータ処理等をする手立てが示されている。(4年p.192)</p>	<p>○「プログラミンを体験しよう」では、シートとシールを用いて、楽しく学習に取り組めるよう工夫されている。(6年p.180)</p> <p>○「みんなで使う理科室」という項目があり、実験を行う際の心構えや器具の扱い方などを、繰り返し学習できる配慮がなされている。(6年p.88)</p>	<p>○他教科（特に算数科）との関連が丁寧に取り上げられており、学んだことを活用できる配慮がなされている。(6年p.206)</p> <p>○二次元コードが全学年において随所に配置されており、学んだことを情報機器を用いて振り返ることができるよう工夫されている。(5年p.147)</p>

選 定 に 必 要 な 資 料

記号	選 定 に 必 要 な 資 料 の 観 点						総 括
	1 内容、程度、分量等	2 教材の選択や構成等	3 興味・関心への配慮等	4 教科の特性、県の実態や課題への適合等	5 各教科等及び実生活との関連についての工夫	6 その他	
A	<p>○どの単元でも表現活動の場面がイラストと吹き出しで掲載されており、1年生の児童にとってわかりやすく見通しをもって学習できるよう工夫されている。(上p. 20, 21)</p> <p>○「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」と学習活動との関連を保護者向けに示し、幼児教育からの円滑な接続ができるよう工夫されている。(上p. 1-11)</p>	<p>○「ぐんぐんそだてわたしの野さい」では、「?花のせわと同じでいいのかな。」と問いかけるなど、1年生での栽培活動の経験が生かされるよう単元が構成されている。(下p. 12)</p> <p>○町探検が2回設定されており、調べる、まとめるなどの活動を繰り返すことにより気付きの質を高め、学習を深めることができるよう構成されている。(下p. 24, 64, 72)</p>	<p>○大判にすることで、掲載されている一つの画像も大きくはつきりとしており、昆虫の体など細部まで見ることができるよう配慮されている。(上p. 57)</p> <p>○上巻下巻とも「やってみよう」では、多様な活動例が示されており、児童の興味・関心を引き出し、活動意欲が高まるよう工夫されている。(上p. 90, 91)</p>	<p>○「もっとなかよしまちたんけん」では、たんの計画を立てる活動が設定され、地域の実態に合わせた学習活動ができるよう配慮されている。(下p. 78)</p> <p>○幼児や高齢者、外国人、異学年児童など、様々な他者と協働して一緒に思いや願いを実現する活動が随所に掲載されている。(上p. 21)</p>	<p>○下巻の右ページ上に、他教科で身に付けた資質・能力を生かす場面が例示されており、効果的に使って活動ができるよう工夫されている。(下p. 53)</p> <p>○下巻の「どきどきわくわくまちたんけん」では、マークや吹き出しで国語で学習したことを活用するよう促している。(下p. 31)</p>	<p>○巻末の「かつどうべんりてちょう」は、習慣や技能、学び方などがまとめてあり、随時活用することができるよう工夫されている。(上p. 115-122, 下p. 107-128)</p>	<p>○大判の教科書で1ページあたりの情報や資料が多く、子どもの思考の流れに沿った学びのプロセスを掲載し、見通しをもって授業づくりが行えるように工夫されている。(下p. 28, 29)</p> <p>○育成を目指す資質・能力が吹き出しとイラストで具体的に示されており、「何ができるようになるか」がイメージできるように配慮されている。(上p. 18, 19)</p>
B	<p>○「しょうがっこうせいかつはじまるよ」では、15分ごとの活動時間の目安が示され、発達の段階に合わせて無理のない活動ができるよう工夫されている。(上p. 4, 5)</p> <p>○見開きごとに活動内容を風船マーク内に端的に表し、活動の見通しがもてるよう配慮されている。(上p. 4)</p>	<p>○上巻「かぞくはななかよし」では、気付きの交流によって自分の考えを広げ、深めていく場面を板書で示し、振り返る場面の位置づけがわかりやすい構成となっている。(上p. 94, 95)</p> <p>○上巻は、季節に沿った大単元構成になっており、季節と活動、児童の実生活が一体化している。</p>	<p>○下巻「花ややさいの大きくなるひみつはっけん」では、色鮮やかな野菜料理の写真が掲載されており、野菜の栽培意欲が高まるよう工夫されている。(下p. 18)</p> <p>○表紙では、触覚を刺激するイラストがあり、児童の興味・関心が高まるよう工夫されている。(表紙)</p>	<p>○「わたしの町はっけん」では、地域の方に向けて発表をする活動が紹介され、地域の実態に合わせた表現活動ができるよう工夫されている。(下p. 69)</p> <p>○絵や言葉、工作、動作化の多様な表現方法で伝え合う場面が示されており、気付きが高まるよう配慮されている。(上p. 53)</p>	<p>○上巻に、「せいかつのことば」の欄があり、語彙に関心をもち日常生活でも使える言葉が増えるよう工夫されている。(上p. 23)</p> <p>○「なつとなかよし」では、夏休みの過ごし方について、祭りなど地域の伝統行事に参加したり、暑中見舞いや絵日記など表現活動をしたりすることを促している。(上p. 42, 43)</p>	<p>○「がくしゅうどうぐばこ」では、夜の長さを図示し、生活と時間の関連が意識できるよう工夫されている。(下p. 113)</p>	<p>○諸感覚を使って子どもが対象に働きかけ、豊かな活動ができるよう工夫されている。(表紙)</p> <p>○単元の始めに単元のゴールの子どもの様子を表す写真を載せ、子どもの活動意欲が高まるよう工夫されている。(下p. 18, 19)</p>

選 定 に 必 要 な 資 料

記号	選定に必要な資料の観点						総括
	1 内容、程度、分量等	2 教材の選択や構成等	3 興味・関心への配慮等	4 教科の特性、県の実態や課題への適合等	5 各教科等及び実生活との関連についての工夫	6 その他	
D	<p>○「がっこうだいすき」では、学校生活における基本的生活習慣がイラストで示され、安心して学校生活をスタートすることができるよう配慮されている。(上p. 1-5)</p> <p>○目次に月が示されており、何月にどのような活動をするかが一目で分かるようになっている。(上下巻頭)</p>	<p>○下巻「まちたんけん」「あの人に会いたいな」では、発見したことをさらに深く調べ、学びが深まるよう工夫されている。(下p. 8, 9, 16, 17)</p> <p>○生活科の内容を「探検単元」「遊び単元」「栽培単元」「飼育単元」「成長単元」の5つの大単元で構成し、それぞれの単元で1年生から2年生で広がりや深まりのあるものに変化するよう構成されている。</p>	<p>○「わたしたちの野さいばたけ」のように、単元の始めページに単元の終わりの児童の生き生きとした表情の姿の写真を載せ、児童の興味・関心を喚起するよう工夫されている。(下p. 36, 37)</p> <p>○学習カードの自己評価欄や巻末の「まなびかたずかん」のチェック欄など、自分自身の成長に気付くことができるよう配慮されている。(上p. 12, 115)</p>	<p>○「あの人に会いたいな」では、地域の方を招いて調べたことを発表する活動を示し、各校の実態に合わせるよう工夫されている。(下p. 22, 23)</p> <p>○「まちたんけん」では、公共交通機関内の優先席の表示、バスのステップ、点字ブロックなどを取り上げ、障がいのある人や高齢者など多様な人々との関わりが捉えられるよう配慮されている。(下p. 11, 14, 15)</p>	<p>○「わたしたんけん」では、原稿用紙を用いた作文が紹介され、国語での学習事項と関連が図られている。(下p. 100, 101)</p> <p>○「うごくおもちゃをつくろう」では、「ものしりノート」のおもちゃの例示に動力が何かが示されており、理科との関連が図られている。(下p. 76-79)</p>	<p>○ワークシート例に、児童の記録だけでなく教師の朱書きも入れることで、児童の取り組みをどのように認めたり、深めたりしていくかの参考となるよう配慮されている。(上p. 34, 35)</p>	<p>○巻末に自己評価チェック欄を載せ、自分の成長を自覚することができるよう工夫されている。(上p. 115, 下p. 104)</p> <p>○発達の段階に配慮した様々なワークシートが例示されており、それらを参考にしながら気付きや思いを書き込むことができるよう工夫されている。(上p. 34, 35)</p>
F	<p>○「きょうから1ねんせい」では、各ページに幼児期の姿のイラストを載せ、児童がこれまでの経験を想起して新生活をスタートすることができるよう工夫されている。(上p. 8-13)</p> <p>○上巻下巻とも各単元に振り返りの時間「なにをかんじたかな」が設定され、児童の気付きが活動内容に合わせて表現できるよう多様な表現活動が例示されている。(上p. 20, 21)</p>	<p>○上巻「かぞくにこにこ大きくせん」では、家族と自分の生活を見つめ直し、家族の一員として自分ができることに挑戦しようとする意欲を高め、できた喜びが感じられるよう配慮されている。(上p. 92-101)</p> <p>○生活科の教科目標を6つの力として整理し、見開きのページごとに特に発揮すると効果的な力をサイコロで示している。(上p. 16)</p>	<p>○キャラクター「いぐら」や「花ちゃん」「大地くん」を設け、児童と同じ目線で一緒に学習できるように設定されている。(上p. 38, 39)</p> <p>○生き物や木の実のクイズを載せることで、児童が興味をもって調べる活動ができるよう工夫されている。(上p. 53, 76, 77)</p>	<p>○「えがおひみつたんけんたい」では、商店や公共施設で仕事をすする人にインタビューする活動が位置付けられ、地域の実態に合わせて活動できるよう工夫されている。(下p. 60-69)</p> <p>○「ひと」コラムで、五感をつかう、比べる、たとえば、試す、予想する、工夫するなどの学習活動が繰り返し提示されており、児童が繰り返し使うことで身に付くよう工夫されている。(上p. 49)</p>	<p>○単元のとびらに巻末の「学びのポケット」のインデックスをつけ、他教科の知識・技能を活用できるよう配慮されている。(上p. 127-136, 下p. 117-136)</p> <p>○「本から学ぼう」では、単元に関連する書籍が紹介され、図書館活用教育との関連が図られている。(上p. 136, 下p. 132, 133)</p>	<p>○教科書の中に書き込むことができる欄があり、キャラクターと一緒に考えたことを書くことができるよう工夫されている。(上p. 21)</p>	<p>○振り返りを見開きで設定し、多様な表現方法で振り返りをする中で、気付きが深まるよう工夫されている。(上p. 20, 21)</p> <p>○巻末20ページにわたり、「学びのポケット」があり、各教科との関連を明確にし、教科等横断的な指導ができるよう工夫されている。</p>

記号	選 定 に 必 要 な 資 料 の 観 点						総 括
	1 内容、程度、分量等	2 教材の選択や構成等	3 興味・関心への配慮等	4 教科の特性、県の実態や課題への適合等	5 各教科等及び実生活との関連についての工夫	6 その他	
H	<p>○「うれしいないちねんせい」では、見開きページに学校生活の様子の子の写真を載せ、児童が一日の流れを見通すことができるよう工夫されている。(上p. 7-10)</p> <p>○写真や場面絵に合わせた短い言葉で活動が端的に表してあり、見やすい紙面になっている。(上p. 20, 21)</p>	<p>○上巻では、春夏秋冬の「いつものばしょ」を設け、四季を通して繰り返し足を運び、直接体験を通して多様な気づきや発見の喜びが感じられるよう工夫されている。(上p. 26, 58)</p> <p>○「いっばいみのつて」では、大豆を取り上げ、人とのコミュニケーションを通して栽培活動ができるよう工夫されている。(下p. 58-65)</p>	<p>○見開きページいっばいに単元を象徴する写真やさし絵が掲載され、活動への意欲が高まるよう工夫されている。(下p. 80)</p> <p>○「すすめすいすい号」では、児童が乗って遊ぶことができる大型の船づくりを紹介し、共同制作や遊びへの興味・関心が高められるよう工夫されている。(下p. 52-57)</p>	<p>○下巻では、作文や詩、手紙を取り上げ、言語活動を重視するとともに、書くことによつて気づきの質を高めるよう工夫されている。(下p. 79)</p> <p>○「わたしたちがすむ町」では、公民館を見学する活動が取り上げられ、商店が少ない地区の児童にとつても参考になるよう工夫されている。(下p. 20)</p>	<p>○上巻では、日本の伝統的な季節の行事を取り上げ、地域や家族、友達との関わりを大事にしながらか生活を豊かにしていくことができるよう配慮されている。(上p. 109-115)</p> <p>○「はるとなかよし」では、「さんぼで『を』」と国語の短文作りにつながる活動が例示されている。(上p. 33)</p>	<p>○単元「いきものといっしょ」が2年間にわたつて掲載されており、動物との継続的な関わりを大切に、課題解決や生命尊重を体験を通して学ぶことができるよう工夫されている。</p>	<p>○その地域ならではの「ひと」・「もの」・「こと」との関わりや触れ合いや交流を通して、地域への愛着が深められるよう工夫されている。(上p. 27-30)</p> <p>○上巻・下巻を通じて動物や植物と継続的に関わる活動が位置付けられるよう工夫されている。(上p. 44, 下p. 88)</p>
I	<p>○「あたらしいいちねんせい」では、表情豊かな写真を中心に文字を少なくする配慮がされている。(上p. 4-13)</p> <p>○複数の写真やイラストを組み合わせて構成したページでは、一つ一つの要素のそれぞれの境界を見分けやすくするよう配慮されている。(上p. 48, 49)</p>	<p>○「あそんでためしてくふうして」では、動くおもちゃを作る過程で試行錯誤の場面を取り上げ、学びの質が高まるような学習過程になっている。(下p. 48-63)</p> <p>○「どうすれば」コーナーで活動のヒントを示しながら、「ほかにあるかな。考えてみよう」と思考力を育てよう配慮されている。(上p. 25)</p>	<p>○上巻「きせつのおくりもの」では、四季の動植物がどこにいるか探したくなるようなダイナミックな絵で掲載されており、児童が興味をもって学習できるよう工夫されている。(上p. 112-123)</p> <p>○身近な生き物に名前を付けたり、飼育したりする活動の単元名に「小さな友だち」とつけるなど、興味・関心をもつて学習できるよう工夫されている。(下p. 36-47)</p>	<p>○「もっとまちたんけん」では、幼児や高齢者、外国の人、障がいのある人など多様な人が登場するよう配慮されている。(下p. 68-77)</p> <p>○「もっともっとまちたんけん」では、農家を訪ねる活動が紹介され、市街地以外の学校の実態にも対応できるよう工夫されている。(下p. 69)</p>	<p>○「ひろがるせいかつじてん」が掲載されており、防災・安全や生活習慣、学習方法について学習したことが自分の生活につなげていけるよう工夫されている。(上p. 138, 下p. 98)</p> <p>○「さかせたいなわたしのはな」では、種を10個ずつのまとまりで数える写真が載せられ、算数で学んだことを生かすことができるよう工夫されている。(上p. 41)</p>	<p>○児童が活動の振り返りを貼り替え可能なシールに書いて学びが記録できるとともに、シールをまとめて貼り直し、1年間の自分自身の成長を実感できるよう工夫されている。(巻末)</p>	<p>○ホップ・ステップ・ジャンプの3段階で学習過程を示し、学びを深める構成を子ども自身が見通せるように工夫されている。(下p. 6)</p> <p>○自分の書いたシールを自己評価の場に貼ることで、達成感や充実感とともに、自分の学びを振り返ることができるよう工夫されている。(上p. 136)</p>

選 定 に 必 要 な 資 料

記号	選 定 に 必 要 な 資 料 の 観 点						総 括
	1 内容、程度、分量等	2 教材の選択や構成等	3 興味・関心への配慮等	4 教科の特性、県の実態や課題への適合等	5 各教科等及び実生活との関連についての工夫	6 その他	
K	<p>○「がっこうだいすきあいうえお」では、数字の上にひらがなのルビをふり、初めて教科書をめくる1年生の負担を軽減するよう配慮されている。(上p. 1-16)</p> <p>○「たくさんのともだちがあつまってきたね」では、幼児期の育ちの様子が写真で示され、入学までの学びや育ちを思い起こして安心して学校生活が始められるよう工夫されている。(上p. 2, 3)</p>	<p>○1つの単元が「わくわく」「いきいき」「ぐんぐん」の3段階で構成されている。インデックスにより、その活動がどこに位置付けられるかが分かりやすいよう配慮されている。</p> <p>○町探検では、活動が進むにつれ絵地図への書き込みが増えており、学習の深まりを視覚的に表現している。(下p. 30, 36, 82)</p>	<p>○紙面右下にあるめくり言葉により、児童の意欲が次の活動につながっていくよう配慮されている。(上p. 7)</p> <p>○単元の導入に「わくわくボックス」という見開きページを配置し、写真やクイズなどから「やってみよう」という意欲が高まるよう配慮されている。(上p. 4, 5)</p>	<p>○上巻下巻とも、単元の終わりには伝え合う場が設定されており、調べたことや考えたこと等を多様な方法で伝え合う、交流すること等の充実が図れるよう工夫されている。(下p. 94, 95)</p> <p>○「町の人にインタビューしよう」では、見守り隊にインタビューする活動が紹介され、地域の実態に合わせて活動ができるよう工夫されている。(下p. 78)</p>	<p>○おもちゃ作りでは、空気・おもり・ゴム・風などの視点の例示があり、3年理科と関連するよう配慮されている。(下p. 60-69)</p> <p>○巻末「がくしゅうずかん」では、調べ方、記録の仕方、考えの深め方、まとめ方、伝え方についての資料が掲載されており、児童が参考にしながら主体的に学習できるよう工夫されている。(下p. 109)</p>	<p>○「できるかなできたかな」コーナーで、何ができるようになったかを振り返ることができるよう工夫されている。(下p. 95)</p>	<p>○紙面右下にめくり言葉を設定し、活動の中で生まれた気づきや次の活動への思いや願いを大切に授業づくりができるよう工夫されている。(下p. 79)</p> <p>○上巻下巻とも「わくわくボックス」が掲載されており、「なぜだろう?」「楽しそう」と児童の心を揺さぶり、活動意欲が高まるよう工夫されている。(上p. 4, 60)</p>
L	<p>○「1ねんせいになったら」は、幼児期の学びを生かし、スムーズに学校生活に移行できるようイメージしやすい写真で構成されている。(上p. 4)</p> <p>○シンプルなレイアウトですっきりと見やすく、また、紙面の各様子が定位置にあることで、どこを見てもいい工夫されている。(上p. 2, 3)</p>	<p>○上巻のスタートカリキュラムと同様に下巻の最初に1年生との交流の単元を配置し、2年生へのスムーズな適応を促すよう配慮されている。(下p. 4-9)</p> <p>○育成すべき資質・能力の3つの柱が、各見開きの左下に配置され、学習展開が分かりやすいよう構成されている。(下p. 16)</p>	<p>○単元のとびらは、人物の表情がよくわかる大きくて興味をひく写真が見開きで掲載されており、活動意欲が高まるよう工夫されている。(下p. 44, 45)</p> <p>○「きれいなはなをさかせたい」では、教科書を山折りにすることで植物の成長過程が一覧できる仕掛けがあり、植物の成長に興味・関心がわくよう工夫されている。(上p. 37-44)</p>	<p>○「いろいろな町のくふう」では、点字を触って体験できるようになっており、福祉との関連に配慮されている。(下p. 135)</p> <p>○「もういちどたんけんしよう」では、デイサービスセンターへの訪問の様子が紹介される等、地域の実態に合わせた活動ができるよう工夫されている。(下p. 71)</p>	<p>○考えを広げたり分類したりする思考ツールを活用した板書例が示されており、中学年以降の学習にもつながるよう工夫されている。(下p. 12, 18)</p> <p>○上巻下巻とも「ちえとわざのたからばこ」では、必要な知識や技能、習慣が多様に掲載されており、学習活動や実生活で生かせるよう工夫されている。(上p. 125-143)</p> <p>○下p. 113-135</p>	<p>○上巻「もうすぐ2年生」では、「がっこうをたんけんしよう」「きせつとあそぼう」の単元で作成した学習カードを時系列で提示してあり、単元相互の関連が見え、学びの定着が図れるよう配慮されている。(上p. 116, 117)</p>	<p>○掲載されている文章や写真、イラスト、図等の多くが「考えるための技法」と関連付けられており、学びが深まるよう工夫されている。(下p. 12, 18, 94)</p> <p>○三つの資質・能力に基づいた「学習のめあて」を示すことで、教師はおさえるべきポイントが、子どもたちは「何をどのように学ぶか」が一目で分かるよう工夫されている。(下p. 50, 51)</p>

選 定 に 必 要 な 資 料

記号	選 定 に 必 要 な 資 料 の 観 点						総 括
	1 内容、程度、分量等	2 教材の選択や構成等	3 興味・関心への配慮等	4 教科の特性、県の実態や課題への適合等	5 各教科等及び実生活との関連についての工夫	6 その他	
F	<p>○2年以降の「スキルアップ」では、輪唱曲や、拍感やリズムのスキルを定着させるような教材が掲載され、常時活動で活用できるよう工夫されている。(2年p. 4, 5)</p> <p>○「まなびナビ」では、学習の視点や学びのプロセスが示されており、児童が見通しをもって学習を進めていくことができるよう工夫されている。(6年p. 16, 17)</p>	<p>○見開きごとに音楽を形づくっている要素を「音楽のもと」と示したり、新出事項を右端にまとめて示したりして、児童が意識して学習を行うことができるよう工夫されている。(4年p. 12, 13)</p> <p>○「音のスケッチ」では、系統的・段階的・発展的に音楽づくりができるよう配慮されている。(4年p. 22, 23, 48, 49)</p>	<p>○教材の歌詞の内容にあった美しい風景が、折込を使った写真で紹介されており、児童が興味をもって豊かにイメージをしながら表現することができるよう工夫されている。(3年p. 40)</p> <p>○アニメや映画のテーマ曲等、児童に親しみのある楽曲が掲載され、表現への意欲が高まるよう工夫されている。(5年p. 52, 53)</p>	<p>○巻末の「音楽ランド」には、同じ教材が学年に応じた編曲による合唱や合奏で掲載されており、全校で取り組むことができるよう工夫されている。(6年p. 69-71)</p> <p>○高学年では、発展的な合奏曲が掲載されており、思いや意図をもってアンサンブルができるよう工夫されている。(6年p. 32, 33)</p>	<p>○4年以降の巻頭には演奏家や狂言師からのメッセージが掲載されており、生活の中で音楽に親しんだり楽しんだりする心情を育むことができるよう配慮されている。</p> <p>○「音楽ランド」の中に「Short Time Learning」が設けられ、英語歌詞の歌、九九の歌が掲載されており、教科横断的に取り扱うことができるよう工夫されている。(2年p. 60, 61)</p>	<p>○「音楽を表すいろいろな言葉」が巻末に掲載されており、音楽を言葉で表し、伝えるための手助けとなるよう配慮されている。(3年p. 76)</p> <p>○「リコーダーの指づかい」が巻末の折込ページに掲載されており、自ら確認できるよう配慮されている。(3年p. 77)</p>	<p>○諸外国に伝わる音楽、様々なジャンルの楽曲から教材が選択されており、児童が楽しんで学習に取り組むことができるよう工夫されている。(4年p. 62, 63)</p> <p>○歌詞の情景を折込を使ったワイドな紙面で示し、児童の興味・関心を深めたり、透明シートを使って理解を深めたりすることができるよう工夫されている。(5年p. 9, 31)</p>
G	<p>○キャラクターの吹き出しには、児童の気付きや思考を促す内容が示され、活動を深めたり広げたりすることができるよう工夫されている。(1年p. 29)</p> <p>○題材のねらいに即した鑑賞の参考曲が示されており、教材を弾力的に取り扱うことができるように配慮されている。(4年p. 56, 57)</p>	<p>○巻頭の「3年生の学習」で1年間の学びの見通しをもち、巻末の「ふりかえりのページ」で学習したことを確認できるように構成されている。(3年p. 2, 82)</p> <p>○学習のめあてが左側に見出しで標記されており、児童が学習の内容や流れをつかみやすいよう工夫されている。(3年p. 34-41)</p>	<p>○表現や鑑賞のポイントを演奏家のメッセージや多様なコラムで示すことにより、音楽と生活の結びつきに興味をもつことができるよう工夫されている。(5年p. 15, 23, 45)</p> <p>○学習をサポートする資料、二次元コードが題材ごとに掲載されており、学習をより深めることができるよう工夫されている。(5年p. 12-17)</p>	<p>○郷土芸能や地域行事の1つとして石見神楽が取り上げられたり、郷土芸能に参加する子供の写真が掲載されたりしており、地域の音楽文化を大切にしているよう配慮されている。(4年p. 28, 29 背表紙)</p> <p>○合奏の教材ではパート数が最小限であり、少人数でも演奏できる曲が多く取り扱われている。(5年p. 40, 41)</p>	<p>○英語歌詞の歌や国語科で取り扱われる教材に関連した楽曲、音楽の歴史をつくった人等が掲載され、教科横断的な学びができるよう工夫されている。(3年p. 77, 4年p. 70, 71, 6年p. 80, 81)</p> <p>○「ちいきにつたわる音楽を調べよう」では調べる際の観点や方法が示され、総合的な学習の時間と連携が図りやすいよう工夫されている。(4年p. 28, 29)</p>	<p>○大きな楽譜や文字、配色、動きを表した図形譜等、見やすい配慮がなされている。</p> <p>○歌唱や鑑賞の学習では、作詞者や作曲家等の工夫を考える学習活動を通して、表現の創意工夫をしたり、著作者を尊重する態度を育んだりすることができるよう工夫されている。(4年p. 46)</p>	<p>○学習を支えるキャラクターの言葉により、多様な考えに触れることができるよう工夫されている。(6年p. 18-21)</p> <p>○題材ごとに、歌唱・器楽・音楽づくり・鑑賞の学習を関連付けて教材が選択されており、学んだことを関連付けたり活用したりすることができるよう、音楽を形づくっている要素を中心に教材が結び付けられている。(2年p. 14-19)</p>

選 定 に 必 要 な 資 料

記号	選定に必要な資料の観点						総括
	1 内容、程度、分量等	2 教材の選択や構成等	3 興味・関心への配慮等	4 教科の特性、県の実態や課題への適合等	5 各教科等及び実生活との関連についての工夫	6 その他	
C	<p>○多様な材料が取り上げてあり、他の題材でも発展的に扱うことができるよう工夫されている。(1・2年下 p. 34, 35)</p> <p>○各学年に応じて、個人で学習を深める活動に加え、共同で取り組む活動や他者を想定した活動が多く提示されている。(5・6年上 p. 24, 25)</p>	<p>○「チョッキンパッドでかざろう」のように、知識及び技能の育成を重視した題材では、技法について注目しやすくレイアウトされ、手順等が子どもの意識に沿った形で示されている。(1・2年上 p. 15)</p> <p>○どの学年にも、「形と色でショートチャレンジ」があり、短時間で取り組める題材が示されている。(3・4年上 p. 44, 5・6年上 p. 12)</p>	<p>○巻頭には、その学年で学習する全ての題材が、資質・能力の三つの柱で分類され、活動場面や作品の写真を用いて見開きで示している。(全学年)</p> <p>○各題材のめあてが児童にも意識できるように、資質・能力ごとに異なるキャラクターがヒントを示している。(5・6年下 p. 20, 21)</p>	<p>○全学年にわたって「みんなのギャラリー」が掲載され、各地に伝わる伝統工芸や地域の造形を取り上げ、郷土のよさを感じられるよう工夫されている。(5・6年上下 p. 48, 49)</p> <p>○「世界につながる」では、外国の方に作品を紹介する例を取り上げ、世界の人々となることができるよう工夫されている。(5・6年上 p. 44)</p>	<p>○「本から飛び出した物語」では、あわせて学ぼうマークとともに教科名が示されており、他教科と関連させて取り組めるよう工夫されている。(3・4年下 p. 26, 27)</p> <p>○目次の後に自分の生活の中で図画工作科の学びを生かす方法が示されている。(3・4年上 p. 6, 7)</p>	<p>○「技術の発達と表現の広がり」では、ICT機器を使った作品あが取り上げられている。(5・6年下 p. 57)</p> <p>○「こころのはなをさかせよう」は、卒業式や入学式との関連を図ることのできるよう工夫されている。(1・2年上 p. 47)</p>	<p>○巻頭のページや、各題材のページにおいて育成を目指す資質・能力が、三つの柱を基に整理されており、特に重視する力が教師にも児童にも意識しやすい構成になっている。(1・2年上 p. 2-5, 10)</p> <p>○伝統工芸や地域の造形を取り上げるなど、学習したことと、地域や社会がつながるよう内容が工夫されている。(3・4年下 p. 48, 49)</p>
L	<p>○造形遊びと、絵や立体、工作と鑑賞のそれぞれの題材がバランスよく掲載されている。巻頭や巻末の資料についても表現と鑑賞の参考になる。(5・6年下 p. 7)</p> <p>○鑑賞では、自分と対象とを一体的にとらえるという低学年の実態を考慮し、鑑賞対象に自分自身が入り込めるような題材が示されるなど発達の段階を踏まえて配列してある。(1・2年上 p. 42, 52)</p>	<p>○どの題材においても写真とともに、吹き出しが示してあり、児童が表現や鑑賞をする上でのヒントとなっている。(3・4年下 p. 50, 51)</p> <p>○「ごちそうパーティーをはじめよう」のように、絵や立体、工作の題材において、表したいことの方角性を示している題材が多い。(1・2年上 p. 26, 27)</p>	<p>○巻頭の見開きのページでは、自然の色の美しさや、身近なものに目をむけられるよう工夫されている。(全学年)</p> <p>○絵や立体、工作に表す内容でも、造形遊びする活動から導入するよう構成されている。(1・2年上 p. 16, 18, 22)</p>	<p>○造形遊びの題材が多く掲載されている。(5・6年上 p. 7)</p> <p>○学校や地域の実態に応じて活動の仕方を考えられるよう一つの題材の中で「屋内・屋外」「自然材・身近な材」「個人・協働」など、複数の実践パターンが示されている。(3・4年下 p. 24, 25)</p>	<p>○「マグネットマジック」のように風のカやゴムの力、磁石の力など、理科で学んだ知識を生かすことができるよう題材が工夫されている。(3・4年上 p. 50, 51)</p> <p>○各巻の「図画工作のつながりひろがり」では、学校と地域を結びつける作品展示や、伝統や文化の広がりを示す手仕事や作品が紹介してあり、美術の多様性を実感できる内容となっている。(5・6年上 p. 54, 55)</p>	<p>○題材名の上に活動が端的に表現されている。(1・2年下 p. 14)</p> <p>○「水から発見ここきれい」では、デジタルカメラを使って表現や鑑賞の活動する様子を掲載し、ICT機器の活用例を示すよう工夫されている。(5・6年上 p. 28, 29)</p>	<p>○造形遊びと絵や立体、工作と鑑賞の題材がバランスよく掲載されている。(1・2年上 p. 42)</p> <p>○身近な行為を造形的な視点で取り上げ、新たな発見を促すことで表現と鑑賞に関する資質・能力が相互に関連しながら育成されるよう配慮されている。(1・2年下 p. 34, 35)</p>

選 定 に 必 要 な 資 料

記号	選 定 に 必 要 な 資 料 の 観 点						総 括
	1 内容、程度、分量等	2 教材の選択や構成等	3 興味・関心への配慮等	4 教科の特性、県の実態や課題への適合等	5 各教科等及び実生活との関連についての工夫	6 その他	
A	<p>○実習・製作する題材を、文章と写真、図で詳しく表し、基礎・基本の定着が図れるよう工夫されている。</p> <p>○「いつも確かめよう」に家庭科の基礎的な技能をまとめることにより、繰り返し確認し、実践できるよう工夫されている。(p. 10, 52, 130-144)</p>	<p>○題材の初めに「学習の流れ」を示し、そのステップごとにめあてを示すことで、見通しをもって取り組んでいけるよう工夫されている。</p> <p>○学習後に「できたかな」や「成長の記録」をチェックすることで、知識・技能が身に付いたかを児童自ら振り返ることができるよう工夫されている。(p. 3, 11, 73, 129)</p>	<p>○キャラクターの吹き出しが、家庭科の見方・考え方に触れながら、つぶやいたり思考を促す質問をすることによって、主体的に学習を進める意欲がもてるよう工夫されている。</p> <p>○学習活動例が「話し合おう」「調べよう」などで示され、学習のねらいに応じて学習活動が選択できるよう工夫されている。(p. 7, 38, 80)</p>	<p>○各題材の冒頭で「家庭科の窓」を示すことで、学習指導要領で示された家庭科の見方・考え方の中で、重視する項目がわかるよう工夫されている。</p> <p>○「プロに聞く!」や「日本の伝統」のコーナーを設けることで、より広い視野での見方、考え方ができるよう工夫されている。(p. 22, 48, 49, 57)</p>	<p>○他教科等や中学校技術・家庭(家庭分野)の学びとのつながりがわかるように示してあり、関連付けや見通しがもてるように工夫されている。(p. 107)</p> <p>○各題材の終末には「深めよう」があり、発展的な学習や、実践への意欲がもてるよう工夫されている。(p. 22, 38, 57, 72)</p>	<p>○児童の技能に関する理解が深まるようデジタルコンテンツを用意するとともに、紙面上に記号を示している。(p. 17, 26)</p> <p>○A 4版にすることで、写真やイラストを大きくしたり、実寸大にしたりして、よりわかりやすくなるよう工夫されている。</p>	<p>○全ての題材を「課題発見」「課題解決・実践活動」「評価・改善」の3ステップで構成し、実生活にも役立つ問題解決的な思考ができるよう工夫されている。</p> <p>○学んだ知識・技能を活用し、生活の課題を解決できるように「生活を変えるチャンス」を設定し、学習と生活がつながるよう工夫されている。</p>
C	<p>○実習や製作では、火加減の調節や沸騰等を丁寧に解説するなど、スモールステップを積み重ねることで、基礎・基本の定着が図れるよう工夫されている。(p. 12, 13, 14)</p> <p>○実習例、製作例は、基礎・基本から応用まで系統立てて多数掲載され、さらに技能レベルを★の数で視覚的にとらえられるよう工夫されている。(p. 44-47, 115)</p>	<p>○題材の初めに「学習のめあて」を示し、その単元の中での学習内容を明確にして取り組むことができるよう工夫されている。(p. 10, 20, 28)</p> <p>○学習の終わりに「ふり返ろう」「生活に生かそう」があり、自己評価するとともに生活へ生かす意識を喚起させるよう工夫されている。(p. 19, 27, 33)</p>	<p>○各題材の導入がフォトランゲージで始まり、興味・関心を持たせたり、様々なことへの気づきや課題発見を促すよう工夫されている。(p. 28)</p> <p>○「考えよう」「調べよう」「やってみよう」「話し合おう」などの小課題が設けられており、学びを深めるよう配慮されている。(p. 29)</p>	<p>○家庭科の見方・考え方の視点を四つ葉で示したり、学習内容の視点を示したりして、意識して取り組むことができるよう工夫されている。(p. 36, 31)</p> <p>○「生活の課題と実践」の事例を学習過程に沿って丁寧に説明しており、課題解決的な学びにつなげられるよう工夫されている。(p. 76-79)</p>	<p>○学習したことを長期休業中に実践できるように「チャレンジコーナー」を学期のまとまりごとに配置し、家庭で実践ができるよう工夫されている。(p. 37, 57, 75, 103, 119)</p> <p>○2年間の学習を振り返って、中学校の学習に生かせるよう工夫されている。(p. 126, 127)</p>	<p>○二次元コードを読み取ることで、調理の過程や製作の方法、実験の動画、学習内容を補充する資料等を見て確認できるよう配慮されている。(p. 23)</p> <p>○本文においては、文の意味がつかみやすいように、1つの単語が行をまたがないよう配慮されている。</p>	<p>○学習指導要領の指導項目に沿って3ステップで題材を構成しており、児童が主体的・対話的で深い学びを実現できるよう工夫されている。</p> <p>○レツトライでは、課題解決学習が学習過程に沿ってできるようにステップを踏んで例示し、取り組めるよう工夫されている。</p>

選 定 に 必 要 な 資 料

記号	選 定 に 必 要 な 資 料 の 観 点						総 括
	1 内容、程度、分量等	2 教材の選択や構成等	3 興味・関心への配慮等	4 教科の特性、県の実態や課題への適合等	5 各教科等及び実生活との関連についての工夫	6 その他	
A	<p>○写真とイラストがバランスよく配置され、入門期の3年生にとって興味・関心をもって学習へ向かうことができるように工夫されている。(3・4年)</p> <p>○検索資料を載せることで、より深く、詳しく調べる手立てが示されている。(5・6年)</p>	<p>○ステップをもちながら学習を進めていけるようになっており、主体的・対話的で深い学びを実現する4ステップの構成になっている。</p> <p>○自分の考えを書いた後、友達の考えも書くように構成されており、話し合い活動を通して学習を深めることができるよう工夫されている。</p>	<p>○「体の成長とわたし」では、1歳ごろのくつや手の大きさを現在の自分と比較する体験を通して、成長を実感できるよう工夫されている。(3・4年p. 24, 25)</p> <p>○単元の始まりに大きな写真を取り上げ、学習へ向かう意欲を高めるとともに、学習課題を掴みやすく工夫されている。</p>	<p>○「病気の予防」では、ギャンブルやインターネットなどの依存症が詳しく記述されている。(5・6年p. 66)</p> <p>○地域の保健活動において、身近な取組から紹介し、地域へと広げる工夫がなされている。特に松江市におけるがんの早期発見等のための検診が紹介されている。(5・6年p. 75-77)</p>	<p>○章のはじめに「つなげよう」の表記があり、家庭科や理科、道徳等との関連が図れるように工夫されている。</p> <p>○「けんこうな生活」では、体の部分の名前を英語で紹介し、外国語活動との関連を図っている。(3・4年p. 10)</p>	<p>○トップアスリートの資料や読み物が紹介されており、オリンピック・パラリンピック教育への関連が図られている。(5・6年p. 12, 18)</p> <p>○AEDを使用した救急法の流れが示されており、AEDへの理解を促すよう工夫されている。(5・6年p. 46)</p>	<p>○「体の成長とわたし」では、実物大の手や靴の写真を載せることで、実感をもちやすく工夫されている。(3・4年p. 24, 25)</p> <p>○自分の考えを書いた後、友達の考えも書くように構成されており、話し合い活動を通して学習を深めることができるよう工夫されている。</p>
B	<p>○見開き2ページで構成されており、詳しい記述は最低限に抑え、自分たちで調べることへつながるよう工夫されている。</p> <p>○「もっと知りたい」「ミニちしき」「はってん」等の資料を多く掲載し、学習内容をさらに広げて深められるように工夫されている。</p>	<p>○「心の健康」では、社会性と感情、思考力が区別され分かりやすくまとめられている。(5・6年p. 8)</p> <p>○「心の健康」では、不安や悩みについて具体例とその解決法について示されており、自分の経験と照らし合わせて考えられるよう工夫されている。(5・6年p. 14)</p>	<p>○章のはじめに「学習ゲーム」を掲載したり、様々なキャラクターが学習のナビゲーター役として登場したりしながら、意欲的に楽しく学習できるよう工夫されている。</p> <p>○「育ちゆく体とわたし」では、シールを使って自分の身長伸びをグラフで表すことで、興味・関心が高められるよう工夫されている。(3・4年p. 25)</p>	<p>○「育ちゆく体とわたし」では、子どもの成長を祝う行事があることを紹介し、自分を大切にすることが高められるよう工夫されている。(3・4年p. 34)</p> <p>○「けがの防止」では、全国ニュースでも取り上げられたブロック塀の事故などが取り上げられ、身近な問題として考えられるよう工夫されている。(5・6年p. 29)</p>	<p>○他教科や既習事項、今後の学習との関連が図れるよう表示がされており、横断的・発展的に学べるよう配慮されている。</p> <p>○中学校での学習とのつながりを☆マークで示したり、6年の「学習のまとめ」として、小学校で学習したことを中学校生活へ生かすことができるようになっている。</p>	<p>○家庭や地域で取り組むとよい活動に「おうちマーク」や「ちいきマーク」を付け、学んだことを家庭や地域でも生かせるよう工夫されている。</p> <p>○巻頭の二次元コードから動画や資料を使い、学習を深める工夫がされている。</p>	<p>○「育ちゆく体とわたし」では、シールを使って自分の身長伸びをグラフで表すことで、興味・関心が高められるよう工夫されている。(3・4年p. 25)</p> <p>○章のはじめに「学習ゲーム」を掲載したり、様々なキャラクターが学習のナビゲーター役として登場したりしながら、意欲的に楽しく学習できるよう工夫されている。</p>

選 定 に 必 要 な 資 料

記号	選定に必要な資料の観点						総括
	1 内容、程度、分量等	2 教材の選択や構成等	3 興味・関心への配慮等	4 教科の特性、県の実態や課題への適合等	5 各教科等及び実生活との関連についての工夫	6 その他	
M	<p>○「個人差」という用語を用いる代わりに、文章で具体的に説明するなど、児童が理解しやすいよう工夫されている。(3・4年p. 21)</p> <p>○「毎日の生活とけんこう」では、1週間の生活調べの結果から、心や体の調子を整えるために必要なことが考えられるよう工夫されている。(3・4年p. 8)</p>	<p>○単元末の宣言のページでは、記述例が示されており、自分の考えを表現する手掛かりとなっている。(3・4年p. 16)</p> <p>○「調べてみよう」「話し合ってみよう」等の学習活動を設定し、スモールステップを踏みながら学習を積み上げ、最後に「新しい自分にレベルアップ」で自己評価できるよう工夫されている。</p>	<p>○「病気の予防」では、導入として病気についてのイメージマップを作成し、学習への興味・関心を高めるよう工夫されている。(5・6年p. 30)</p> <p>○「体の発育・発達」では、思春期の体の変化について着衣のままに表示してあり、児童の過度な反応を促さない配慮がされている。(3・4年p. 23)</p>	<p>○「体の発育・発達」では、地産地消という言葉をつかい地元の食材のよさに触れた記述から、バランスのよい食事へ結びつけられるように工夫されている。(3・4年p. 30)</p> <p>○「けがの防止」では、自助・共助・公助を取りあげ、社会福祉の観点から大事にされている連携の必要性が述べられている。(5・6年p. 28, 29)</p>	<p>○「体の発育・発達」では、新体力テストの記録や合計点が発育や生活習慣と深いつながりがあることをグラフで示し、関連が図れるように配慮されている。(3・4年p. 19, 31)</p> <p>○「病気の予防」では、ノンアルコール飲料について触れ、身近な疑問の解決と共に、ゲートウエイドラッグへ結びつける工夫がなされている。(5・6年p. 47)</p>	<p>○「けがの防止」では、犯罪被害を防ぐ標語『きょうはいかのおすし』を記載し、犯罪被害について意識を高める工夫がされている。(5・6年p. 22)</p> <p>○単元末に自分の宣言を書くページが設けられており、学習後の実践へ向けて意識できるように配慮されている。</p>	<p>○運動と保健の関連を図るために、新体力テストの記録や合計点が発育や生活習慣と深いつながりがあることをグラフで示し、学習したことを日常生活に生かせるように配慮している。(3・4年p. 19, 31)</p> <p>○「けがの防止」では、自助・共助・公助を取りあげ、社会福祉の観点から大事にされている連携の必要性が述べられている。(5・6年p. 28, 29)</p>
N	<p>○「さらに広げよう深めよう」等の学習のまとめりに豊富な資料を掲げ、学びを広げ、深めるよう配慮されている。(3・4年p. 14)</p> <p>○「けがの防止」では、発展学習として地震について詳しくとりあげ、地震から身を守る方法を考えることで、災害への意識を高める工夫がされている。(5・6年p. 36)</p>	<p>○各章の最初に4コマ漫画を利用し、学習の課題と見通しがもてるよう工夫されている。(5・6年p. 7)</p> <p>○巻頭ページに、これから始まる保健の学習の意義を伝えたり、学習に対する児童の期待感を高めたりするために、トップアスリートからのメッセージを掲載している。</p>	<p>○「心の健康」ではコミュニケーションについて触れ、よりよいコミュニケーションのとり方について事例を示しながら説明している。(5・6年p. 15)</p> <p>○「心の健康」では、深呼吸の方法を提示し実際に体験することで、心や体への変化を感じ取れるよう工夫されている。(5・6年p. 18)</p>	<p>○「けんこうな生活」では、スマートフォンやタブレットの使い方と生活リズムについての資料が掲載されており、それらを扱う際の具体的なルールについて考えることができるよう工夫されている。(3・4年p. 15)</p> <p>○「体の発達と健康」では運動量に関する内容を詳しく取り上げ、生涯にわたって運動に親しみ、健康の保持増進が図れるよう配慮されている。(3・4年p. 35)</p>	<p>○中学年で学習することが多い福祉関係の記述が巻末に記されている。(3・4年p. 41)</p> <p>○「けがの防止」では、「歩きスマホ」の危険性について具体的な場面を紹介し、日常生活で注意を促す工夫がされている。(5・6年p. 29)</p>	<p>○二次元コードを掲載しているページが多く、動画やウェブサイトを活用して、学びを広げられるよう工夫されている。</p> <p>○章の終わりに学習のまとめのページを設け、学習したことの確認とともに学習を振り返りながら今後の生活に生かしたいことを考えられるよう工夫されている。</p>	<p>○各章のはじめに4コマ漫画を掲載し、学習への動機づけを図る工夫がされている。</p> <p>○二次元コードを掲載しているページが多く、動画やウェブサイトを活用して、学びを広げられるよう工夫されている。</p>

選 定 に 必 要 な 資 料

記号	選 定 に 必 要 な 資 料 の 観 点						総 括
	1 内容、程度、分量等	2 教材の選択や構成等	3 興味・関心への配慮等	4 教科の特性、県の実態や課題への適合等	5 各教科等及び実生活との関連についての工夫	6 その他	
○	<p>○見開き2ページの基本構成とし、見通しをもって学習できるように配慮されている。</p> <p>○普段の自分の生活をチェック項目で振り返ることで、自分自身の生活のしかたと学習課題を関連付ける工夫がされている。(5・6年 p. 40, 42)</p>	<p>○「つかむ」「考える/調べる」「まとめる・深める」という構成になっている。</p> <p>○「友達と」マークなどを示し、教え合う、学び合う活動を随所に設け、主体的・協働的に学ぶ態度が育成されるよう工夫されている。</p>	<p>○「もっと知りたい・調べたい」を設け、児童の興味・関心や学校の実態に応じて、学習したことを広げたり、深めたりすることができる構成にしている。</p> <p>○「体の発育・発達」では、男女の体の特徴を示すイラストがシルエットで示しており、児童が特徴をとらえやすいよう工夫されている。(3・4年p. 25)</p>	<p>○「心の健康」では、いじわるや嫌なことの具体的な場面が示され、いじめについて考えることができるよう工夫されている。(5・6年p. 17)</p> <p>○「地域のさまざまな保健活動」では、島根県教育委員会の相談窓口の開設についてのパンフレットが紹介され、身近な地域の活動に目を向けるよう工夫されている。(5・6年 p. 55)</p>	<p>○各教科や既習事項と関係する学習には「関連」マークが明示しており、他学年・他教科の学習内容と関連が図れるよう工夫されている。</p> <p>○裏表紙の内側に健康を守る仕事が紹介されており、キャリア教育との関連が図れるよう工夫されている。(5・6年p. 57)</p>	<p>○「かがくの目」 として、実験の場面や写真を通して深い学びへ結びつける工夫がなされている。</p> <p>○「病気の予防」 では、様々な病原体が鮮明なカラー写真で掲載されている。(5・6年 p. 35)</p>	<p>○「友達と」マークなどを示し、教え合う、学び合う活動を随所に設け、主体的・協働的に学ぶ態度が育成されるよう工夫されている。</p> <p>○「かがくの目」として、実験の場面や写真を通して深い学びへ結びつける工夫がなされている。</p>

選 定 に 必 要 な 資 料

記号	選定に必要な資料の観点						総括
	1 内容、程度、分量等	2 教材の選択や構成等	3 興味・関心への配慮等	4 教科の特性、県の実態や課題への適合等	5 各教科等及び実生活との関連についての工夫	6 その他	
A	<p>○5年生のテーマは「自分・地域・日本」で、6年生のテーマは「世界の人々・世界と日本・中学校への扉」となっており、発達の段階に応じた広がりをもったテーマ設定となっている。</p> <p>○各学年の教科書の総ページ数及び「Unit」数は、5,6年ともに8Unit 96ページである。</p>	<p>○導入ではそのUnitのゴールを意識できるようになっているなど、各活動のねらいがはっきりした内容が表示されている。(5年p.10)</p> <p>○ページ下にSmall talk, Word Link, Sounds and Lettersを設けて、帯活動につなげたり、関連するページを探したりしやすいよう工夫されている。(5年p.12,13)</p>	<p>○巻末に活動で使うカードが用意され、それぞれの活動で使用した後振り返りのページに貼り付けられるようにしてあり、学習を整理し、振り返りやすいよう工夫されている。(5年p.34,35)</p> <p>○本編では写真が多用されており、児童が場面を想起しやすいよう工夫がされている。(6年p.14,15)</p>	<p>○Let's Read and Writeでは、英語を書く活動のページがまとめてあることにより、表現する力の変容を感じられるよう工夫されている。(6年p.86-89)</p> <p>○「Enjoy Communication」では、やり取りの方法や使用する表現が示してあり、不安感を軽減し取り組めるよう工夫されている。(6年p.26,27)</p>	<p>○U6のLet's try④では、1,000円以内のメニューと条件設定がされており、自分の生活と比べながら考えるのに適した設定となっている。(5年p.57)</p> <p>○総合的な学習の時間で扱われる「環境問題」と関連した内容になっており、主体的な学びができるよう工夫されている。(6年p.42-49)</p>	<p>○別冊がついており、表現活動をすすめる際に辞書の代わりとして使うことができるよう工夫されている。</p> <p>○学習に広がりをもてる吹き出しがあり、発展的に学べるよう工夫されている。(5年p.51)</p>	<p>○導入、展開、まとめの中に、無理なく5領域が組み込まれ、また丁寧な日本語表記により、児童も指導者も学習の流れがよくわかるよう工夫されている。(5年p.10,11,6年p.6,7)</p> <p>○注目させたい文法に色付けがあり、文中での位置に意識が向くよう工夫されている。(6年p.10)</p>
C	<p>○各学年表紙裏に1年間で何ができるようになるかが「CAN-DOマップ」として示されており、1年間の学習事項に見通しがもてるように工夫されている。</p> <p>○各学年の教科書の総ページ数及び「Lesson」数は、5年9Lesson 119ページ、6年9lesson 127ページである。</p>	<p>○「中学校へつなげよう」という付録が巻末についており、2年間の外国語科で学んだことを復習し、中学校での学習を意識できるように工夫されている。(6年p.102-)</p> <p>○「Let's Play」ではその記録を記入する欄が十分に設けてあり、児童の実態に合わせられるよう工夫されている。(6年p.50,64,72)</p>	<p>○鏡を用いてアルファベットと出会う展開になっており、児童の興味・関心を高められるようになっている。(5年p.8)</p> <p>○カードゲームをする際の例が示されており、楽しみながら英語を使う場面を設定できるよう工夫されている。(5年p.33-37,6年p.35)</p>	<p>○日本の文化や行事など、日本固有の単語にはルビを振るなど、外国籍児童への配慮がなされている。(6年p.18,19)</p> <p>○思い出を絵本で紹介する内容では、既習表現を生かして絵本を作れるようになっており、伝えたい思いを主体的に表現できるよう工夫されている。(6年p.58)</p>	<p>○「チャレンジ2」では、道案内で学んだ表現を用いて指示ブロックを動かす活動になっており、プログラミング教育と関連付けた内容になっている。(5年p.47)</p> <p>○関連ある教科が明記されており、児童が多様な視点と考えを働かせて学べるよう工夫されている。(5年p.70,6年p.43)</p>	<p>○文字についての学習が集められ、書く活動にしていねいに取り組める工夫がされている。(巻末)</p> <p>○書く活動を15分間のモジュール学習で展開できるよう工夫されている。(5年p.82-105)</p>	<p>○「学んだことリスト」には、活動に対応する4技能が一目でわかるよう工夫されている。(5年 p.108-113,6年p.112-117)</p> <p>○単元ごとに振り返るページがあり、児童が自分の学びを確認しながら学習を進められるよう工夫されている。(5年p.78,6年p.78)</p>

選 定 に 必 要 な 資 料

記号	選定に必要な資料の観点						総括
	1 内容、程度、分量等	2 教材の選択や構成等	3 興味・関心への配慮等	4 教科の特性、県の実態や課題への適合等	5 各教科等及び実生活との関連についての工夫	6 その他	
D	<p>○巻頭にクラスルームイングリッシュやアルファベットなど、既習事項が分かりやすく示され、学んだことを主体的に生かせるよう工夫されている。</p> <p>○各学年の教科書の総ページ数及び「Lesson」数は、5年157ページ Lesson10, 6年153ページ Lesson10である。</p>	<p>○各単元の最初のページは、大きな見開きのイラストになっており、様々な英語表現を児童から引き出せるよう工夫されている。</p> <p>○1レッスンでの内容や時間数などが「学習の進め方」で明記されており、見通しをもって学習に取り組むことができるよう配慮されている。(5年p. 21)</p>	<p>○Let's Listen Let's Chantには、3つのイラストが描かれ、児童の理解を促すよう工夫されている。(5年p. 26)</p> <p>○「英語を聞きとろう・英語らしく話そう!」では、音の上げ下げをやじるし(ハ)で書き込む内容があり、音への意識が高められるよう工夫されている。(5年p. 15)</p>	<p>○書く活動の部分では、まず「なぞり書き」の欄が設けられ、小さいステップで学習を進められるよう工夫されている。(5年p. 25)</p> <p>○LessonはA, B, Cの3部を組み合わせ学習し、児童が見通しをもって学習に取り組めるよう工夫されている。(5年p. 36-41)</p>	<p>○個数を尋ね合う活動では、身近なものを尋ね合うようになっており、活動に参加しやすくなるよう配慮されている。(5年p. 42)</p> <p>○身近な話題を習得した内容を用いて自ら発信する力を伸ばしている。(5年p. 79, 137, 6年p. 77, 133)</p>	<p>○巻末に「Word List」があり、自己表現する際の助けになるよう工夫されている。</p> <p>○前の学年で学習した内容がまとめられている「Pre-lesson」で、内容を振り返り、確認できるよう工夫されている。(5年p. 17-20, 6年p. 10-16)</p>	<p>○毎時間の最初に行う歌や、聞くことに対する細やかな手立てが工夫されている。(5年p. 139-143, 6年p. 135-139)</p> <p>○学習に関する情報を紹介する「コラム」が各Lessonにあり、児童の興味・関心や国際感覚が高められるよう工夫されている。(5年p. 32, 6年p. 38)</p>
E	<p>○教科書の始めに、色々な場面での「教室で使う英語」が紹介されており、児童が英語に触れることができる。(5年p. 12-14, 6年p. 12, 13)</p> <p>○各学年の教科書の総ページ数及び「Lesson」数は、5年9 lesson 128ページ, 6年9 Lesson 128ページである。</p>	<p>○本編はHop, Step, Jumpで構成されており、Hop, Step, で習得した内容を活用してJumpで表現活動ができるよう工夫されている。</p> <p>○Jumpにおいては学習段階が見開きで示され、児童が目標を定め、どのように進めたらよいか分かりやすくなっている。(5年p. 36, 37, 6年p. 74, 75)</p>	<p>○ことばや文化に対する関心が持てるように、クイズ形式や情報としてまとめてあり、興味をもてるよう工夫されている。(5年p. 104-107, 6年p. 108-111)</p> <p>○小単元の最初の見開きのページのイラストに英単語が記載され、児童の文字への関心が高められるよう工夫されている。(5年p. 40, 41)</p>	<p>○各学年の巻末に「○年生で学習した主な表現」を示し、具体的にその学年で身に付けた内容が振り返られるよう工夫されている。(全学年p. 128)</p> <p>○自分の身の回りのもので思い付く言葉を書き、詩を作る活動により、主体的で深い学びにつながるよう工夫されている。(6年p. 60, 61)</p>	<p>○活動を動画に記録して、後にお互いに見合うなどの例が示されており、児童のICT活用を促すよう工夫されている。(6年p. 40, 100)</p> <p>○価格表などから必要な情報を読み取る力が養われるよう工夫されている。(5年p. 60, 61, 6年p. 67)</p>	<p>○「『ことば』のおはなし」や「世界の小学校」では、日本語に目を向けたり異文化に触れたりすることができるよう配慮されている。6年p. 104-107)</p> <p>○時差について学べるよう工夫されている。(5年巻末)</p>	<p>○児童が主体的に英語表現を使って活動するための単元構成や活動が工夫されている。(5年p. 36, 37, 6年p. 98, 99)</p> <p>○3学期制に対応しており、学期ごとに大単元にわかれ、児童が自分の思いを大切に、よりダイナミックに表現できるよう工夫されている。(5, 6年p. 4, 5)</p>

選 定 に 必 要 な 資 料

記号	選定に必要な資料の観点						総括
	1 内容、程度、分量等	2 教材の選択や構成等	3 興味・関心への配慮等	4 教科の特性、県の実態や課題への適合等	5 各教科等及び実生活との関連についての工夫	6 その他	
F	<p>○現行の英語教材をベースにした語彙、表現、文構造で、同じ9単元、同じ流れで移行期からスムーズに児童が教科化に慣れるような工夫がされている。(5年p. 14-23)</p> <p>○各学年の教科書の総ページ数及び「Lesson」数は、5年9 lesson 118ページ、6年9 Lesson 112ページである。</p>	<p>○各Lessonは4つの活動で構成され、Lessonごとにできるようになっていることが明確に設定されている。</p> <p>○「することができる」という内容を動物を通して考える工夫がされており、児童が考えやすいような構成になっている。(5年p. 59)</p>	<p>○親しみのあるキャラクターが登場し、児童が関心をもって取り組めるよう工夫されている。(5年p. 29)</p> <p>○写真が多く使われ、児童が実物をイメージして英語表現に触れる工夫がされている。(5年p. 16)</p>	<p>○「知らない言葉を調べてみよう」では、和英辞典の使い方が紹介されており、発展的な学習につながるよう工夫されている。(6年p. 105)</p> <p>○友達との関わりを大事にしながら行う活動により、対話的で深い学びにつながるよう工夫されている。(5年p. 56-65, 6年p. 86-93)</p>	<p>○災害時の対応に関する表現が紹介されており、実生活につなげて練習することができるよう工夫されている。(5年p. 44)</p> <p>○道徳や国語で扱った教材を素材にし、読むこと、書くことへの負担感を軽減し、達成感を感じられるよう工夫されている。(5年p. 90, 6年p. 82)</p>	<p>○日本の名所・名物を示すための地図が折り込みで入っており、見やすいよう工夫されている。(5年p. 72-75)</p> <p>○巻末カードにはミシン目が入っており、切り取りやすくなっている。</p>	<p>○インクルーシブ教育を意識した登場人物や題材の扱いになっている。(5年p. 40, 6年p. 64, 65)</p> <p>○ゴールの活動にワークシートを使用することで、児童が自分の学びを実感でき、達成感と表現意欲を高められるよう工夫されている。(6年巻末)</p>
I	<p>○「5(6)年生でできるようになること」では、領域ごとに学習したことが確認できるよう工夫されている。(全学年p. 8, 9)</p> <p>○各学年の教科書の総ページ数及び「Unit」数は、5年9 Unit 140ページ、6年9 Unit 144ページである。</p>	<p>○ページの近くにある「一言フレーズ」や「発音」では、考える視点や発音のポイントを載せており、児童の学習のヒントになるような構成になっている。(5年p. 72, 74, 6年p. 104, 106)</p> <p>○各UnitはHop, Step, Jumpで構成されJumpでは自己表現活動が用意されている。(5年p. 21)</p>	<p>○「You can do it!」では「やりたい」ではなく「見たい」を考えることで考えやすくなり、また友だちの意外性に触れることができるよう工夫されている。(6年p. 45)</p> <p>○児童に親しみのあるイラストが描かれ、場面設定も日本語で書かれており、児童の興味・関心を高める工夫がされている。(5年p. 40, 41)</p>	<p>○「Jump!」では見開きで左側にこれから書く文章の例が示されていることで、自分のことについて書く際の助けとなるよう工夫されている。(6年p. 34, 35)</p> <p>○カードを選んで英文を作る活動では、児童が自らカードを選び構成を考えて作文をすることができるよう工夫されている。(6年p. 102)</p>	<p>○場面や状況に応じて言い方や言葉の選び方を考える力を養えるよう工夫されている。(5年p. 92, 93, 6年p. 90, 91)</p> <p>○語順の特徴に気付くために、理科で学ぶ食物連鎖の知識をヒントにシールを使って楽しく学べるよう工夫されている。(6年p. 69)</p>	<p>○巻末にペンマンシップシートが付けられており、文字の練習が繰り返しやすいよう工夫されている。</p> <p>○「世界の友達」では、自分と同じ年の外国の子どもについても映像を通して学び、多様な価値観に触れられるよう工夫されている。(5年p. 50, 51)</p>	<p>○相手意識を持った言葉やジェスチャーなどについてのコーナーがあり、相手を意識したやり取りができるよう配慮されている。(6年p. 67)</p> <p>○単元の最初のページに最終ゴールとそれぞれの時間の主活動が明記され各単元6～8時間の見通しがもてるよう工夫されている。(5年p. 41, 6年p. 61)</p>

選 定 に 必 要 な 資 料

記号	選定に必要な資料の観点						総括
	1 内容、程度、分量等	2 教材の選択や構成等	3 興味・関心への配慮等	4 教科の特性、県の実態や課題への適合等	5 各教科等及び実生活との関連についての工夫	6 その他	
K	<p>○活動が精選されているため、1単元時間の内容は余裕をもって指導できる分量となっている。</p> <p>○各学年の教科書の総ページ数及び「Unit」数は、5年8Unit136ページ、6年8Unit136ページである。</p>	<p>○「Say and Write」では、書き方のコツがあり、児童が意識して書くことができるよう工夫されている。(6年p.13)</p> <p>○Pre Unitを含む9つのUnitとまとめのREVIEW, Storyなどの付録で構成され、習得から活用を友達との関わりを大切に活動するよう工夫されている。</p>	<p>○文化の違いや実生活で目にするものを示すことで、興味・関心を高められるよう工夫されている。(5年p.18)</p> <p>○ふり返る場面では「できた」だけでなく、「もっと知りたい・使いたい」という記述項目があり、児童の関心を高める工夫がされている。(5年p.82, 6年p.18)</p>	<p>○「CHALLENGE」では、そのユニットで学んだことを生かした発展的な課題があり、児童が主体的に学びに向かえるよう工夫されている。(5年p.41)</p> <p>○「Listen and Guess」では、児童が即興的に伝えたいくなるような素材が多く、意欲的に取り組めるよう工夫されている。(5年p.74, 75)</p>	<p>○地図記号を図の中に書き入れることにより、社会科で学習した内容との関連がもてるよう配慮されている。(5年p.80, 81)</p> <p>○自分が住む地域の良さや町づくりについて提案する内容になっており、英語を通して地域に目を向けることができるよう配慮されている。(6年p.30-37)</p>	<p>○ページ番号に英語が併記されており、文字とのつながりが意識できるよう工夫されている。</p> <p>○英語を書く4線の幅が等間隔に近づけてあり、中学校への接続がスムーズになるよう工夫されている。</p>	<p>○1単位時間の活動内容が精選されており、余裕をもって指導できるようになっている。児童の実態に合わせて活動が加えられるよう配慮されている。(6年p.20, 21)</p> <p>○既習事項を用いて発展的な活動ができる内容が用意されている。(5年p.41)</p>

選 定 に 必 要 な 資 料

特別の教科 道徳 No. 1

記号	選定に必要な資料の観点						総括
	1 内容、程度、分量等	2 題材の選択や構成等	3 興味・関心を高める工夫	4 教科の特性、県の実態や課題への適合等	5 各教科等及び実生活との関連についての工夫	6 その他	
A	<p>○「ダメ」では、いじめについて考え、最後に明るく前向きな気持ちで終わられるように配慮されている。(1年p.47)</p> <p>○「かやねずみのおかあさん」では、多くの挿絵を配置し、場面展開がわかるよう配慮されている。(1年p.62)</p>	<p>○「なかよしだから」にあるように、中学年以上には、「考えるステップ」という欄に自分の考えを書き込めるようにしてあり、考え、議論する道徳を意識した構成になっている。(3年p.71)</p> <p>○「修学旅行の夜」等では、場面の切り替えが次のページに設定してあり、道徳的価値への気づきがより印象付けられるよう工夫されている。(6年p.76)</p>	<p>○「1ぴきのセミにありがとう」では、羽化の連続写真を取り入れ、興味をもって読んでいくことができるように工夫されている。(4年p.54)</p> <p>○「愛華さんからのメッセージ」では、島根県出身の6年生が書いた本を取り上げ、島根県の児童の興味・関心を高めることができる内容となっている。(6年p.34)</p>	<p>○「心を形に」では、心を形にする方法を題材としており、島根県の「ふるまい向上」の取組に関連付けて学習することができる内容となっている。(6年p.10)</p> <p>○各学年の発達段階に合わせて、情報モラル等の現代的課題を考え、議論できる教材が設定されており、家庭との連携も意識されている。</p>	<p>○「ホテルのひっこし」等では、教材の後に「つながる・広がる」ページが盛り込まれており、他教科の学習と関連付けて考えられるようになっていく。(3年p.62)</p> <p>○各学年の発達段階に合わせて、巻末には「つながる・広がる」のページがあり、普段の生活と関連付けた資料が設定されている。</p>	<p>○5年p.37からp.44にみられるように「いじめのない世界へ」の単元が各学年の発達段階に応じた内容の二つの教材を関連付けて構成してあり、考えを深められるようになっていく。</p>	<p>○「いじめのない世界へ」の単元が、二つの教材(いじめを直接的に扱った教材と間接的に扱った教材)を関連付けて構成されており、複数時間にわたり深く考えられるよう工夫されている。</p> <p>○「ふるさといいとこさがし」では、蕎麦や神楽など、島根のよさを連想させる素材が取り上げられており、島根県と関連付けて学習することができる内容となっている。(3年p.136, 6年p.34)</p>
D	<p>○「わすれられたしらゆきひめ」のように、身の回りの物や動物の気持ちを代弁している内容によって、視点を変えて考えることができるように工夫されている。(2年p.14)</p> <p>○高学年では、見開き4ページを基本にした分量の内容教材を選択している。また、新しい教材は右ページから始まるよう配慮されている。</p>	<p>○「すれちがい」では、両者の立場を見開きページで順に比較して考える構成とし、すれ違いが起きる原因を理解できるように工夫されている。(5年p.20)</p> <p>○コラム「スポーツだいすき」を全学年掲載するとともに、オリンピック・パラリンピックに関する様々な立場の人、こと、を取り上げ、スポーツの意義やその精神について考えられるよう工夫されている。</p>	<p>○「心を結ぶ一本のロープ」では、出雲市で開催されたマラソン大会で、初めての全盲ランナーが誕生した時のことを、その経緯を踏まえて紹介されている。(4年p.114)</p> <p>○「土俵を造る-土俵築-」等で、呼び出しや宮大工など児童が普段知り得にくい職業を取り上げ、関心をもたせるよう工夫されている。(5年p.58)</p>	<p>○「おばあさんの新聞」では、出雲を舞台に、島根県に縁のある岩国哲人氏の少年期の姿が取り上げられ、島根県と関連付けて学習することができる内容となっている。(6年p.88)</p> <p>○別冊「まなび」では、学びの方法をマークで示し、様々な学習活動を通して、自ら考えを深めたりできるようにしている。</p>	<p>○各学年の発達段階に合わせて、読みもの「コラム」のページがあり、生き方や実生活で心がけていきたい内容が示されている。</p> <p>○「みんなで『ありがとう六年生!』」では、内容・時期ともに学校行事との関連に配慮されており、学習を効果的に進められ、かつ実生活に生かすことのできるものとなっている。(5年p.133)</p>	<p>○本冊「きづき」(教材文)と別冊「まなび」(学習活動)の中で、データやメッセージ、写真等様々な方法で児童の心に働きかけることができるよう工夫されている。</p>	<p>○本冊と別冊の2分冊で構成されている。「まなび」1冊で活動の記録がまとめられるとともに、内容項目別に再構成されているため、個々の心の変容や学習の深まりが見とれるよう工夫されている。</p> <p>○「心を結ぶ一本のロープ」、「おばあさんの新聞」は、出雲が舞台となっており、児童の興味関心を高める教材となっている。(4年p114, 6年p88)</p>

選 定 に 必 要 な 資 料

記号	選定に必要な資料の観点						総括
	1 内容、程度、分量等	2 題材の選択や構成等	3 興味・関心を高める工夫	4 教科の特性、県の実態や課題への適合等	5 各教科等及び実生活との関連についての工夫	6 その他	
F	<p>○「かぼちやのつる」では、マンガ風に提示することで、場面や展開を理解しやすいように工夫されている。(1年p.16)</p> <p>○全学年に「スキル(やってみよう)」が取り入れられ、実際にやってみたり、その後の思いを振り返ったりできるよう工夫されている。</p>	<p>○教材を読んだ後、「学びの手引き」にしたがって考えることができるように構成され、考え、議論する道徳の具現化を図るよう工夫されている。</p> <p>○各学年巻頭の「道徳の授業が始まるよ」ページで、年度当初の気持ちを記入し、1年間の見通しをもつとともに、巻末の振り返りで自らの成長を感じられるだけでなく、家庭との連携ができるように構成されている。</p>	<p>○「気づく心」では、教材を読む前に、自分の気持ちを見つめるための書き込みページを設定することにより、関心を高めてから教材を読むことができるよう工夫されている。(3年p.27)</p> <p>○これまでのオリンピックやパラリンピックで活躍した人物を多数取り上げ、児童の興味・関心を高めるよう工夫されている。</p>	<p>○「ダメ！」の学習後には、「なんていったらいいのかな」でスキルの学習を取り入れ、学びを生かすよう工夫されている。(1年p.58,64)</p> <p>○1・2年の巻末には、「みにつけようれいぎ・マナー」のページが設けられており、低学年のうちから身に付けておきたいふまについて紹介されている。</p>	<p>○「プロレスごっこ」では、教材をきっかけにして、その続きを学級活動で話し合うことが可能な内容となっている。(4年p.37)</p> <p>○「青い海をとりもどせ」では、役割演技等の活動例が示され、体験的な学習が行われるよう工夫されている。(6年p.34)</p>	<p>○全学年を通じて、44人の偉人を取り上げ、多くの偉人の生き方・考え方に触れられるようになっている。</p>	<p>○各学年において、1年間の学習を振り返る時間を組んでいる。頑張りたいこと、家族のコメントを記載する箇所があり、自分の成長(変容)を感じ取れるよう工夫されている。</p> <p>○問題解決型学習に適した教材に関しては、導入部分として1ページが特設されており、物事を多面的・多角的に考え、積極的に議論できる構成になっている。(4年p.36)</p>
I	<p>○「夢を実現するためには」では、現役プロ野球選手を題材にし、高い志を持ち具体的に努力する内容が取り扱われている。(5年p.10)</p> <p>○「海のゆりかご」と「命の旅」など関連ある内容項目を連続して扱い、学習を効果的に進められるようになっている。(6年p.67,72)</p>	<p>○「なおとからのしつもん」では、2つの場面を設定し、主人公がいっしょに考えることを呼びかけ、考えを深められるように構成されている。(3年p.115)</p> <p>○「みんなおかしいよ！」では、登場人物の言い分を関係図で整理し考え、議論するよう工夫されている。(6年p.106)</p>	<p>○「宇宙から見えたもの」では、迫力ある写真で構成された教材が提示されるなど、児童が興味をもてる教材提示について工夫されている。(5年p.63)</p> <p>○「クラスの犬へんしん」では、2つの挿絵の違いを見つけることで道徳的価値に気づかせるよう工夫されている。(2年p.68)</p>	<p>○「一ふみ十年」では、人格の否定ではなく、人の行為について考えられる文章表現となっており、道徳的価値に焦点化されるよう配慮されている。(5年p.56)</p> <p>○「あいさつ名人」は、島根県の「ふるまひ向上」の取組に関連付けて学習することができる内容となっている。(3年p.13)</p>	<p>○各学年「なんだろうなんだろう」で、児童が実生活とつなげて道徳的価値について考えることができるよう工夫されている。</p> <p>○各学年の巻末に、「内容項目の一覧表」があり、児童が各教材がどのような価値であるのかを確かめることができるようになっている。</p>	<p>○各学年の見返しのページに、それぞれの学年で大切にしたい姿を詩で表現し、6年間を通じた成長の過程をメッセージとして伝えている。</p>	<p>○1年間を3つの学習のまとまりに区切り、「学びの記録」を記入するページを設定し、定期的に自己の成長と振り返りを確かめることができるよう工夫されている。</p> <p>○挿絵や写真などの資料を大きく掲載することにより、興味・関心を高めるとともに、教材の内容理解を助けることができるよう工夫されている。</p>

選 定 に 必 要 な 資 料

記号	選定に必要な資料の観点						総括
	1 内容、程度、分量等	2 題材の選択や構成等	3 興味・関心を高める工夫	4 教科の特性、県の実態や課題への適合等	5 各教科等及び実生活との関連についての工夫	6 その他	
L	<p>○標準の35時間分の教材に加え、付録として3～4教材が収められており、児童の実態に合わせて入れ替え、指導できるよう工夫されている。</p> <p>○「あぶないよ」では、規範意識が成長と共に身に付いてきたことをふまえた内容となるよう配慮されている。(2年p. 42)</p>	<p>○各学年で「学習の手引き」や「心のベンチ」として体験的な学習活動が例示されており、児童が体験しながら考えを深めていくように構成が工夫されている。(6年p. 134)</p> <p>○「学習の手引き」では、話し合い活動を設定し、考え・議論する道徳の具現化を図るよう工夫されている。</p>	<p>○「富士と北斎」など、写真や絵を多く使い視覚的な効果を活用し学習できるよう工夫されている。(3年p. 174)</p> <p>○「のび太に学ぼう」では、児童に親しみのあるキャラクターの色々な面を見ることで、自己の生き方を考えることができるよう工夫されている。(5年p. 4)</p>	<p>○「いじりといじめ」では読み物資料を決着のつかない結末にし、議論したくなるよう工夫されている。(4年p. 94)</p> <p>○3年以上の「心のベンチ」で、「いじめの防止」につながる内容など、読みもの教材とは異なった角度から、児童の見方や考え方を広げるよう配慮されている。(5年p. 87)</p>	<p>○巻末の学習内容一覧において他教科等との関連や、テーマの欄として現代的な課題等との関わりについてを掲載し、カリキュラムマネジメントへの配慮がされている。</p> <p>○「うまくなりたけれど」は、他教科の学習活動(国語科毛筆)そのものを題材としており、教科と直結した学習が図られるようになっている。(3年p. 94)</p>	<p>○「道徳ノート」が別冊として付いている。題材ごとに自分の感じたことや考えたことを自由に記述できるよう配慮されている。</p>	<p>○「道徳の学び方」として、学習の手引きが見開き2ページで構成されている。実際の授業場面の写真を掲載するなど、見通しを持って主体的に学習できるよう工夫されている。</p> <p>○「心のベンチ」では、教材と関連した内容や活動を例示することにより、道徳的価値への理解を深めることができるよう工夫されている。</p>
N	<p>○標準の35時間分の教材に加え、付録として5教材が収められており、児童の実態に合わせて入れ替え、指導できるよう工夫されている。</p> <p>○「電話のおじぎ」は、児童の生活場面において、おばあさんの姿から、見えない「心」が、見えてくる内容となっている。(3年p. 14)</p>	<p>○もくじを見ると当該学年での独自の重点主題教材を設定し、連続した資料の配置により集中して学習が進められるように配慮されている。</p> <p>○「すてきなことば あふたあ ゆう」「一年生のお世話係-アフター ユー-」では、同じ活動について、学年をまたいで取り上げるよう工夫されている。(1年p. 78, 6年p. 10)</p>	<p>○「世界がおどろく七分間清掃」など様々な内容項目の資料で日本を題材にしており、自国に誇りをもつことができるよう工夫されている。(6年p. 40)</p> <p>○3年以上にオリンピック・パラリンピックを題材とした資料があり、児童が興味をもちやすい教材で学習を進めることができるよう工夫されている。</p>	<p>○教科書巻末の内容項目別教材一覧で、関連性のある内容項目が明示してあり、多面的に思考を深めていくことができるよう配慮されている。</p> <p>○児童が自ら「問い」をもって授業に臨むことができるよう配慮され、下段に考えるためのポイントや視点が提示してある。</p>	<p>○「本当にだいじょうぶ？」では学習後に資性のある内容項目を生かせるよう工夫されている。(6年p. 48)</p> <p>○「海を耕す人たち」は、水産業の現状を踏まえた内容であり、5年社会科の「水産業」の学習との関連を図ることができるよう工夫されている。(5年p. 64)</p>	<p>○巻末に「学びの足あと」として授業の記録のページがあり、低学年では顔のイラスト、中・高学年では心の矢印で表現するようになっている。そのことで、児童は自分の成長を実感し、教師は児童の変容を見取ることができるよう工夫されている。</p>	<p>○変型A4判とし、紙面に余裕をもたせ教材下部に問いかけを示すことで、考えを広げられるよう工夫されている。</p> <p>○「サッカーボール」など、同年代の子どもたちの身近な生活場面を取り上げた教材が多くあり、主人公に共感しやすく、自分自身のこととして考えられるよう工夫されている。(4年p. 20)</p>

選 定 に 必 要 な 資 料

特別の教科 道徳 No. 4

記号	選 定 に 必 要 な 資 料 の 観 点						総 括
	1 内容、程度、分量等	2 題材の選択や構成等	3 興味・関心を高める工夫	4 教科の特性、県の実態や課題への適合等	5 各教科等及び実生活との関連についての工夫	6 その他	
0	<p>○「クラスたいこう全員リレー」にあるように対立する意見が本文最後に示してあり、自分がどちらの立場なのかを明確にして議論を進められるよう工夫されている。(4年p.94)</p> <p>○教材は必ず見開きで始まるように配置され、教材の内容に集中しやすいよう配慮されている。</p>	<p>○教材最後の「つなげよう」に、友達の考えや家の人の思いを書き込むことで思考の広がりや支援し、考え、議論する道徳の具現化を図るよう工夫されている。(5年p.119)</p> <p>○本文より前に主題を入れないうことで、児童が自ら課題を見つけることができるよう工夫されている。</p>	<p>○各学年でオリンピックに出場し活躍した人物を取り上げ、児童が興味をもって読み進めることができるよう工夫されている。(4年p.10)</p> <p>○「みんな赤ちゃんだったよ」では、赤ちゃんの実物大写真が掲載し児童の関心を高めている。(1年p.36)</p>	<p>○「いのち」を全学年共通の重点テーマとし、複数の内容項目で複数時間使って考えを深めていけるように設定されている。</p> <p>○「おかしくないかな」では、1枚絵からカルタをつくる活動を通して、児童が自ら問題に気付くことができるよう工夫されている。(1年p.44)</p>	<p>○「食べ残されたえびになみだ」では、社会科との関連が図られると共に、グラフなど資料活用を通して実生活にもつながる内容となっている。(6年p.76)</p> <p>○「アルソミトラの空」では、種子が飛んでいく美しさが描かれており、理科で学習する植物の生長と関連させて学習できるよう工夫されている。(5年p.160)</p>	<p>○巻頭に自分を見つめるページ、巻末に1年間の学びを振り返るページがあり、児童が自分の成長を感じられる構成となっている。</p>	<p>○6年間を通じて表紙に描かれているオリジナルキャラクターが教材にも登場し、登場人物に自らの成長を重ねながら、教材に向き合うことができるよう工夫されている。</p> <p>○A4判を使用しており、「みんなあかちゃんだったよ」では、原寸大の赤ちゃんの写真がカラーで載せてあり、1年生にもイメージしやすい配慮がされている。(1年p.36)</p>
p	<p>○高学年では文章中の難解な語句に脚注がつき、内容理解を助けるよう配慮されている。(5年p.42)</p> <p>○1年生の入学当初はイラストのみの教材を掲載するとともに、夏休みまでは、ひらがなだけで学習ができる教材が配置されている。</p>	<p>○「生命の尊さ」を全学年共通の重点項目とし、「その思いを受けついで」「明日もまた生きていこう」のように教材の内容によっては2時間連続で配置し、じっくり深く考えることができるよう工夫されている。(5年p.91,96)</p> <p>○「夢にむかって」では、3人のスポーツ選手の夢にむかう姿勢から、3人に共通する心を考え、自分の生き方につなげるよう工夫されている。(6年p.58)</p>	<p>○「章太と孝治」-二つのえがお-、「章太と孝治」-かげぼうし-と継続する教材があり、児童もいっしょに成長するイメージで学習を進めることができるよう工夫されている。(5年p.10,6年p.44)</p> <p>○「一まいの写真から」では1枚の写真をもとに、「ぼくの生まれた日」では漫画をもとに、考える教材を取り入れ児童の意欲を喚起するよう工夫されている。(4年p.65,97)</p>	<p>○「拾ったりんご」では、自分の行動や気持ちを振り返ることで、深く考えることを促すものとなっている。(3年p.107)</p> <p>○中・高学年では、「学習の道すじ」を手がかりとして、活発な話し合いや自己の生き方について考えを深めることができるよう配慮されている。</p>	<p>○「お手紙書いたよ」では他教科と関連させて学習できるように工夫されている。(2年p.42)</p> <p>○「考えよう 話し合おう」の「学習を広げる」の中で、他教科の学習内容と関連させた活動を提示したり、読書活動に広げられるよう本の紹介をしたりしている。(5年p.51,6年p.93)</p>	<p>○別冊「道徳ノート」には、自分が感じたことや考えたことが自由に書ける欄が設けられている。ノート巻末には、振り返るのポイントが記載されており、自己を見つめ、考えを深めるための手がかりとなっている。</p>	<p>○別冊「道徳ノート」を価値について考えたり、自分と照らし合わせて振り返ったりするために活用しながら、教科書と2冊セットで1時間の学びを深められるよう構成されている。</p> <p>○中・高学年では、「学習の道すじ」を手がかりとして、活発な話し合いを促したり、自己の生き方について考えを深めたりすることができるよう配慮されている。</p>